

総合保健体育科学センター年報

第30号

2007

名古屋大学総合保健体育科学センター

目 次

保健管理業務

1. 平成19年度の保健管理活動について	1
2. 学生の健康診断	4
1) 定期健康診断	5
a. 実施状況	5
b. 精密検査	6
2) 秋期健康診断（留学生健康診断）	16
3) 特殊健康診断	16
I. 放射線同位元素等を取り扱う実験・実習に従事する学生	17
II. 有害物質を取り扱う実験・実習に従事する学生	21
3. 職員の健康診断	25
1) 一般定期健康診断	25
2) 特殊健康診断	29
4. 健康相談と応急処置（学生・職員）	37
5. 精神健康（メンタルヘルス）相談業務	41
6. 運動実施のためのメディカルチェック	43
7. B型肝炎ワクチン接種	43
8. 平成19年度学校医名簿	43
9. 名古屋大学診療所規程	44

保健体育の事業

1. 「健康への道」の発行	47
2. 総合保健体育科学センター主管の行事	48

「健康・スポーツ科学」の授業

1. ねらいと授業科目	49
2. 授業形態	49
3. 「講義」について	50
4. 「実習」について	50
5. 「実習」の非常勤講師	51

そ の 他

庶務関係事項	55
1) 人事異動	55
平成19年度 各種委員会委員名簿 (学内)	56
平成19年度 各種委員会委員名簿 (センター内)	58
2) 外国出張及び海外研修旅行	59
あ と が き	60

保 健 管 理 業 務

1. 平成19年度の保健管理活動について

主な保健管理活動は、従来から行われている保健管理業務と保健教育である。

保健管理業務には、各種の健康診断、心身の健康相談、その他の業務がある。学生の健康診断については、健診項目、実施方法などは従来と同様で、特に変更はなかった。健診のデータ管理にはコンピュータを使用し、OCRによりデータ入力をしている。OCRの読み込みに多大な労力を要するので、近年は外部委託で処理しているが、学生証のICチップ化に伴い、今後健康診断結果等のICチップとの兼ね合いが最大の検討課題となろう。1年生の内科系健康診断は、学部ガイダンスのスケジュールにあわせ、入学2週間後（各講義ガイダンスが終了した後）、授業時間を割いて行っており、受診率が若干低下している。今後一層、健康診断の日程や必要性を周知徹底したい。

その他、学生に対する特別健康診断に、有害物質、RI取り扱い学生健康診断、留学生の健康診断（秋入学）、クラブ、サークルの健康診断、医学部学生のB型肝炎ワクチン接種などがあげられる。

保健管理業務の中で健診に並んで重要なものは健康相談および応急処置業務である。身体健康分野は従来どおり5名の医師が診療を担当している。メンタルヘルス分野は、学生相談総合センターの精神科医2名とあわせて3名が担当している。応急処置業務については、日常業務のほか、センター試験、入学試験などの救護班担当も保健管理室の業務である。また、本年度より学内における運用定員のあり方に関して、種々議論がなされ、保健管理活動を担っている内科医師5名のうち2名、精神科医師3名のうち2名（学生相談総合センター）が、各々運用定員のため、削減される危機に直面している。万一、削減に至れば、これまでの業務の維持は困難極まりない状況になると予想される。

保健管理活動のもう一つの柱である保健教育は、全学教育の一環として、「健康・スポーツ科学」を担当し、身体・精神健康について主に講義を行っている。スポーツ科学については体育科学部の教員が担当している。

教職員の健康管理については安衛法の下での健康管理が行われている。これらは人事労務課福祉・厚生掛が立案し、事務的な部分は人事労務課および各部局の担当者が行い、健診業務の多くを外部委託しているが、実施場所は保健管理室である。また、産業医活動も東山キャンパスについて6名が産業医として参加し、巡視を行っている。月1回の東山地区安全衛生委員会に保健管理室長が出席している。なお、鶴舞、大幸地区にも産業医がいるが、相互の交流は少ないので、名古屋大学全体として産業医活動のあり方を検討する必要がある。教職員の健康管理については新しい規則の下で今後さらにスムーズにかつ十分な管理が行われるよう検討されていくものと考えている。また、有機溶剤等にかかる健康診断が増加しつつあり、人事労務課との連携のもと、効率よいた確な健康管理を行っていくべく努力をしており、学内構成員の理解を求めたい。

押 田 芳 治

保健管理室年間行事表（定期に行われるものに限る）

	行 事	内 容	対 象 者 等
4月	学生定期健康診断	尿検査、胸部X線検査、血圧検査、視力検査、聴力、身長体重測定、栄養状態、視診、問診、個人調査、聴打診（1年生のみ）	学部生、大学院生、研究生、留学生センターの4月入学留学生（附属高校生は胸部X線検査のみ：5月）
5月	学生定期健康診断の再検査・精密検査 学生特殊健康診断 学生放射線取り扱い者の調査 医学生B型肝炎ワクチン接種等の検査	尿、胸部X線、心臓、血圧、栄養、貧血、肝臓、甲状腺等の検査 皮膚検査、眼の検査、血液検査 書類調査後、健康診断要・不要判定 接種前血液検査	定期健康診断の要再検査の学生、要精密検査者および前年度要観察者以上の学生 R1従事する学生（5月～7月新規従事者） R1従事する学生（継続従事者） 医学部医学科4年生
6月	医学生B型肝炎ワクチン接種等の検査	第1回ワクチン接種	医学部医学科4年生
7月	学生特殊健康診断 医学生B型肝炎ワクチン接種等の検査 職員一般定期健康診断 職員特殊健康診断	皮膚検査、眼の検査、血液検査 第2回ワクチン接種 胸部X線検査、尿検査、血圧検査、身長体重、視力検査 心電図検査、血液検査 聴力検査（1000・4000Hz） 血液検査、皮膚検査、眼の検査 血液検査、皮膚検査、眼の検査、口腔検査、血圧検査 尿検査、胸部X線検査	R1従事する学生（7月～10月新規従事者）、R1従事者の内、受診の指示があった学生 医学部医学科4年生 全職員 内35歳と40歳以上の職員 内35歳と40歳と45歳以上の職員 R1従事者の内、受診の指示があった職員 特定有害業務に従事する職員
8月	職員一般定期健康診断の精密検査 職員健康診断の再検査	胸部X線検査 血圧検査、血液検査、尿検査	一般定期健康診断で検査対象となる職員、前年度要観察以上の職員 健康診断の要再検査の職員
10月	学生特殊健康診断 留学生健康診断 留学生健康診断の再検査 学生定期健康診断の精密検査	皮膚検査、眼の検査、血液検査 書類調査後の各検査（血液、尿、皮膚、眼、視診等） 学生の定期健康診断に同じ 胸部X線検査（精密検査）、尿検査 胸部X線検査	R1従事する学生（11月～12月新規従事者） 有害物質等に従事する学生 留学生センターの10月入学留学生、5月以降来日した留学生 留学生健康診断の要再検査の学生 定期健康診断（4月）の要観察以上の学生
11月	学生特殊健康診断	皮膚検査、眼の検査、血液検査	R1従事する学生（1月～6月新規従事者）
12月	職員一般定期健康診断 職員特殊健康診断	職員一般定期健康診断に同じ 職員特殊健康診断に同じ	職員（7月末受診の者） R1従事者の内、受診の指示があった職員、特定有害業務に従事する職員
1月	センター試験救護 医学生B型肝炎ワクチン接種等の検査 職員一般定期健康診断の精密検査 職員健康診断の再検査	必要に応じた応急処置 第3回ワクチン接種 職員健康診断の精密検査・再検査に同じ	センター試験受験者 医学部医学科4年生 定期健康診断で検査対象となる職員、要観察以上の職員 健康診断の要再検査の職員
2月	大学入学試験救護 医学生B型肝炎ワクチン接種等の検査 職員VDT健康診断 職員健康診断	必要に応じた応急処置 接種後血液検査 眼の検査（矯正視力、近点検査等）上肢、頸部等の機能検査 便潜血反応	大学入学試験受験者 医学部医学科4年生 VDT従事する職員 40歳以上の職員
3月	学生定期健康診断 学生定期健康診断の精密検査 大学入学試験救護	4月の定期に準ずる 4月の定期、5月の精密検査に準ずる 必要に応じた応急処置	医学部学生（次年度対象者） 定期健康診断の要観察以上の学生（次年度対象者） 大学入学試験受験者
年次	職員の採用時健康診断および海外派遣労働者健康診断 職員の長時間労働者への面接 職員の復職者相談 職員健康診断後の相談 生活指導 スポーツのためのメディカルチェック	胸部X線検査、尿検査、血圧検査、身長体重、視力検査、血液検査、心電図、聴力検査（1000・4000Hz）、診察 問診及び指導 診察 診察 経過観察（必要に応じた診察・検査） 心電図検査や必要に応じた健康診断	採用予定者 6ヶ月以上の海外出張の職員 職員 職員 健康診断結果で相談したい職員 定期健康診断で要観察以上の学生 希望部、クラブ加入学生

（注）健康相談、応急処置、精神相談は年中実施

健康管理対象者数の年次推移

年度	学 生 数 (女子：内数)			定期健康診断 受診数		健康診断 受診率	一般健康相談者数 (学生)		精神衛生相談者数 (学生・職員合計)	
S 50	8,539		100.0%	5,707	100.0%	66.8%	1,298	100.0%	271	100.0%
S 55	8,876	(1,131)	103.9%	6,748	118.2%	76.0%	2,325	179.1%	162	59.8%
S 60	9,637	(1,711)	112.9%	7,038	123.3%	73.0%	3,338	257.2%	204	75.3%
H 1	11,411	(2,311)	133.6%	8,218	142.4%	71.2%	3,054	235.3%	242	89.3%
H 2	11,789	(2,431)	138.1%	8,718	152.8%	74.0%	2,441	188.1%	221	81.5%
H 3	12,183	(2,581)	142.7%	9,270	162.4%	76.1%	2,422	186.6%	313	115.5%
H 4	12,691	(2,761)	148.6%	9,842	172.5%	77.6%	3,128	241.0%	415	153.1%
H 5	13,302	(3,101)	155.8%	10,648	186.6%	80.0%	2,763	212.9%	406	149.8%
H 6	13,712	(3,273)	160.6%	11,459	200.8%	83.6%	2,595	199.9%	425	156.8%
H 7	14,388	(2,909)	168.5%	12,063	211.4%	83.8%	2,473	190.5%	434	160.1%
H 8	14,752	(3,043)	172.8%	12,140	212.7%	82.3%	2,890	222.7%	483	178.2%
H 9	14,996	(3,135)	175.6%	11,570	202.7%	77.2%	2,875	221.5%	579	213.7%
H10	15,157	(3,413)	177.5%	11,216	196.5%	74.0%	2,573	212.1%	718	264.9%
H11	15,414	(3,775)	180.5%	10,937	191.6%	71.0%	2,477	190.8%	860	317.3%
H12	15,554	(4,135)	182.2%	11,214	196.5%	72.1%	2,654	204.5%	945	348.7%
H13	15,760	(4,394)	184.6%	11,591	203.1%	73.5%	2,500	192.6%	1,462	539.5%
H14	15,741	(4,578)	184.3%	11,195	196.2%	71.1%	2,686	206.9%	1,820	671.6%
H15	15,784	(4,679)	184.8%	11,287	197.8%	71.5%	2,687	207.0%	1,900	701.1%
H16	15,811	(4,681)	185.2%	11,598	203.2%	73.4%	2,033	156.6%	1,942	716.6%
H17	15,844	(4,663)	185.5%	11,159	195.5%	70.4%	2,147	165.4%	2,170	800.7%
H18	15,894	(4,718)	186.1%	11,295	197.9%	71.1%	1,873	144.3%	2,450	904.1%
H19	15,794	(4,742)	185.0%	11,368	199.2%	72.0%	1,589	122.4%	2,278	840.6

学生数：5月1日現在（研究生含まず）

2. 学生の健康診断

平成19年度 学生の健康診断実施表

定期健康診断				
	検査項目	—検査内容	受診対象者	実施時期
一 次 検 査	1 視力検査・会話域聴力	—視力計, 問診	学部学生 大学院学生 研究生等 # (新生・医学生・希望者) ※ (学生1年生のみ)	医学部5～6年生, M2, D2～D4 保健学科2～4年生, M2, D2 3月1日(木) 2日(金) 2年生以上学部生, 大学院生, 研究生 4月10日(火) ～21日(月)
	2 尿検査(蛋白・潜血・糖)			
	3 胸部X線検査	#—間接撮影		
	4 身体計測(身長・体重)			
	5 血圧検査	—血圧測定		
	6 栄養(肥満・るい瘦)	—BMI法		
	7 貧血・肝炎・甲状腺検査	—視診・触診		
	8 健康(自覚症状)個人調査	—調査書		
	9 心音検査	※—聴診		
再 ・ 精 密 検 査	1 尿検査(蛋白・潜血・糖)	*—血液・尿検査	一次検査で要精検となった者 要精検となった者 * (前年度健康診断の結果 指導区分D-2以上の者 も加える)	4月27日(金) ～5月31日(木) b 第2回目 10月下旬
	2 胸部X線検査	*—直接撮影 b		
	3 血圧検査	—血液・心電図		
	4 栄養(肥満・るい瘦)	*—血液・体脂肪		
	5 貧血・肝炎・甲状腺検査	*—血液		
	6 心音検査	*—心電図		
	7 健康個人調査	—面接		
留学生秋期健康診断				
項目	1 定期健康診断と同じ		留学生センターの10月入学留学生 5月以降来日した留学生	11月2日(金)
1年生の秋期健康診断				
項目	1 胸部X線検査	—間接撮影	4月健診未受診の学部新1年生	10月24日(水)
特殊健康診断				
検 査 項 目	1 血液の検査	—血算	放射線同位元素等を取り扱う実験・ 実験・実習に従事する者	1. 5/8～5/10
	2 皮膚の検査	—皮膚科医の診察		2. 7/3～7/4
	3 眼の検査	—眼科医の診察(白内障)		3. 10/19～10/20
	4 問診	—健康診断に関する調査書		4. 11/20～11/21
項目	1 有害物質取扱調査	—取扱に関する調査書	有害物質等を取り扱う実験・実習 に従事する者	10/19～10/20
	2 検査(希望者)	—診察(眼・皮膚・内科)・ 血液・尿		

1) 定期健康診断

a. 実施状況 (表1・表2)

定期健康診断の実施項目は、昨年度と同様、感染症と生活習慣病に重点を置いたもので、肺結核だけでなく、心、腎、肝疾患、高血圧、内分泌代謝疾患（糖尿病、肥満、るい瘦、甲状腺腫）および貧血と多岐にわたっている。健診の実施場所は従来と同様、保健管理室である。一次健診とその精密検査が4、5月に行われた。受診者全員が健診終了時に医師から直接説明を受け、後にその結果表を受け取るシステムになっている。なお、一次健診により再検査を実施した結果は各項目を参照されたい。

外国人留学生の受入に伴う健康診断は、4月、10月の2回実施し、一般学生と同様の健診を実施した。

平成19年度 定期健康診断 受診結果

学部・研究科	対象者数 (5.1 在籍者)			受診者数			受診率 %	対象外者数	
	学部	研究科	計	学部	研究科	計		研究生	受診数
学部 1 年生	2,229		2,229	2,156		2,156	96.7		
学部 2 年生	2,295		2,295	1,304		1,304	56.8		
文学部・文学研究科	336	318	654	269	150	419	64.1	69	33
教育学部・ 教育発達科学研究科	181	256	437	137	131	268	61.3	69	26
法学部・法学研究科	398	141	539	255	80	335	62.2	88	9
経済学部・ 経済学研究科	516	141	657	342	88	430	65.4	27	12
情報文化学部	216		216	152		152	70.4	4	2
理学部・理学研究科	628	556	1,184	447	458	905	76.4	24	6
医学部・ 医学系研究科	406	706	1,112	204	179	383	34.4	105	4
保健学	455	205	660	410	85	495	75.0	0	0
工学部・工学研究科	1,680	1,516	3,196	1,322	1,340	2,662	83.3	71	22
農学部・ 生命農学研究科	404	429	833	297	358	655	78.6	22	10
国際開発研究科		317	317		202	202	63.7	17	8
人間情報学研究科		14	14		4	4	28.6	0	0
多元数理科学研究科		142	142		99	99	69.7	5	1
国際言語文化研究科		231	231		148	148	64.1	44	34
環境学研究科		448	448		316	316	70.5	22	5
情報科学研究科		396	396		310	310	78.3	8	5
法科大学院・ 専門職学位課程		234	234		125	125	53.4	0	0
留学生センター								39	31
その他								13	3
合計	9,744	6,050	15,794	7,295	4,073	11,368	72.0	627	211
附属学校胸部対象者			120			119			

b. 精密検査

胸部X線検査は、第1回（春期）では間接撮影（一次検査）を実施し、異常を疑われた学生および前年度からの要観察者（D2以上）を対象に直接撮影を実施している。第2回（秋期）では春期の検査にて要観察（年2回受診）と判定した学生に対しては直接撮影を実施し、要医療（医療機関に通院中）の学生については診察を行った。

尿検査は、複合試験紙（ウロペーパー）を用い、蛋白・潜血・糖の項目を検査、再検査、さらに陽性の学生に精密検査を行っている。検査・再検査で蛋白・潜血・糖それぞれが「+」以上の学生を陽性とした。ただし、蛋白・潜血が共に「±」以上の学生も同様に陽性とした。

血圧検査は、自動血圧計を用い座位で測定し、収縮期血圧(SBP)140mmHg以上もしくは拡張期血圧(DBP)90mmHg以上(2回)を再検査対象としている。再検査(5分間安静)し、さらに高い学生に水銀血圧計を使用し聴診法、仰臥位でSBP160mmHg以上もしくはDBP95mmHg以上に精密検査を行った。

心臓検査は、原則として学部新1年生に心音検査を行い心雑音等が聴取された学生に対して心電図検査を行った。また従来からの要観察者(D2以上)、胸部X線検査で心精検と判定された学生に対しても同様に心電図検査を実施している。

栄養は、BMI (Body Mass Index, 体重(kg) ÷ [身長(m)]²) が15以下をるい瘦・30以上を肥満とし希望した学生に精密検査を行った。ただし学部1年生の肥満対象者は必須。肥満検査はアンケートも実施した。

問診、視診および触診で貧血・甲状腺・肝臓疾患の疑いのある学生に精密検査を行った。

	再検査		精密検査内容	
	項目	結果		
尿	蛋白	陽性	採血	アルブミン・クレアチニン
			検尿	蛋白(定量)……24h尿沈査
	潜血	陽性	検尿	沈査
	蛋白・潜血2項目	陽性	採血	アルブミン・クレアチニン
			検尿	クレアチニンクリアランス・蛋白(定量)……24h尿沈査
糖	陽性	採血	空腹時血糖・グリコヘモグロビンA1c	
血圧	座位・自動血圧計 ↓ 仰臥位・水銀血圧計	SBP160以上 もしくは DBP95以上	心電図	
			採血	総コレステロール, HDLコレステロール, Na, K, Cl, Ca, 無機リン, クレアチニン, アルドステロン, コルチゾール, レニン

項目	精密検査内容	
肥満	計測	体脂肪率(インピーダンス法), ウエスト・ヒップ比(2カ所の周囲測定)
	採血	総コレステロール, HDLコレステロール, 中性脂肪, GOT, GPT, γ-GTP, 尿酸, インスリン, 空腹時血糖 (ただし新規でこの検査を受診する学生はグリコヘモグロビンA1cも)
るい瘦	採血	総コレステロール, GOT, GPT, TP, Alb, (A/G), BUN, アミラーゼ, トリオソルブ
貧血	採血	赤血球, 白血球, Hb, Ht, PLT, 血液像, Fe, UIBL, フェリチン
甲状腺	採血	T ₃ UP, サイロイドテス, マイクロゾームテスト
肝臓	採血	総ビリルビン, 直接ビリルビン, 総蛋白, Alb, GOT, GPT, ALP, LDH, TTT, ZTT, HBs抗原, HCV抗体

判定区分は以下のように生活規制，医療の両面を考慮して決定した。

判定区分

1. 生活規正の面からの区分

記号

- A (要休業) 授業を休む必要のあるもの
- B (要軽業) 授業制限を加える必要のあるもの
- C (要注意) 授業をほぼ平常に行ってよいもの
- D (健康) 全く平常の生活でよいもの

2. 医療の面からの区分

記号

- 1 (要医療) 医師による直接の医療行為を必要とするもの
- 2 (要観察) 医師による直接の医療行為を必要としないが，定期的に医師の観察指導を必要とするもの
- 3 (健康) 医師による直接，間接の医療行為を全く必要としないもの

注・学校保健法施行規則別表第一による。

再検査，精密検査を受けた結果，生活指導を要する者については，医師が直接指導した。

平成19年度 胸部X線 精密検査結果

学部・研究科	間接 有所見 判定数	第 1 回 (直接)						第 2 回 (直接)							
		対象 者数	判定区分				未 受 検	心 精 へ	対象 者数	判定区分				未 受 検	心 精 へ
			D3	D2	D1	A1				D3	D2	D1	A1		
文 学 部	14	5	3	1		1		2	1	1					
文 学 研 究 科	4	6		6				# 1			1				
教 育 学 部	7	1	1												
教育発達科学研究科	3	3		3											
法 学 部	19	3	2	1			2								
法 学 研 究 科	2	1		1				1	1		1				
経 済 学 部	12	4	1	3											
経 済 学 研 究 科	1	1	1												
情 報 文 化 学 部	9	0													
理 学 部	25	7	2	2		2	1	2	* 2	1			1		
理 学 研 究 科	21	2													
医 学 部	9	8	4	3			1		1	1					
医学系研究科	12	3	2	1				# 2	1	1					
医学系研究科	6	2		2											
保健学系	3	3	2	1											
工 学 部	67	13	3	6	3		1	1	4	1	1	1		1	
工 学 研 究 科	38	11	4	4	1		2		1	1					2
農 学 部	17	4	2	2				1	1		1				
生命農学研究科	13	4	1		3			3	1	1				1	
国際開発研究科	7	5	2	2	1			1				1			
人間情報学研究科	0	0													
多元数理科学研究科	3	1			1										
国際言語文化研究科	2	3	1	2											
環境学研究科	7	4	1	3											
情報科学研究科	10	6	4	1		1		3	1		1				
法・専門職学位課程 その他	6	0													
そ の 他	1	0													
計	191	48	20	19	3	3	3	4	10	4	3	1	1	1	0
研 究 科	127	52	16	27	6	1	2	3	11	4	3	3	0	1	2
合 計	318	100	36	46	9	4	5	7	21	8	6	4	1	2	2

未受検数は昨年度観察者

#内1名 秋季健診より *内2名秋期健診より

平成19年度 蛋白 再検査・精密検査結果

学部・研究科	対象者数	再 検 査			精 密 検 査				
		異常なし	要精検	未受検	D 3	D 2	D 1	C 1	未受検
文 学 部	5	3	1	1			1		
文 学 研 究 科									
教 育 学 部									
教育発達科学研究科	1		1				1		
法 学 部	2	2							
法 学 研 究 科	2	2							
経 済 学 部	3	2	1			1			
経 済 学 研 究 科									
情 報 文 化 学 部	6	3	1	2		1			
理 学 部	9	8		1					
理 学 研 究 科									
医 学 部	医学科	4	3	1				1	
	保健学科	6	6						
医学系研究科	医学専攻	1	1						
	保健学系	2	1	1					
工 学 部	11	7	2	2			2		
工 学 研 究 科	4		1	3	1				
農 学 部	6	6							
生 命 農 学 研 究 科	2		2			1	1		
国 際 開 発 研 究 科	2	1		1					
人 間 情 報 学 研 究 科									
多 元 数 理 学 研 究 科	2	2							
国 際 言 語 文 化 研 究 科	3	2	1			1			
環 境 学 研 究 科	4	3	1						
情 報 学 研 究 科	5	2	2	1			2		
法・専門職学位課程									
そ の 他	1		1			1			
計	学部	52	40	6	6	0	2	4	
	研究科	29	14	9	6	1	4	4	
合 計	81	54	15	12	1	6	8		

平成19年度 潜血 再検査・精密検査結果

学部・研究科	対象者数	再 検 査			精 密 検 査				
		異常なし	要精検	未受検	D 3	D 2	D 1		未受検
文 学 部	12	7	4	1		2	2		
文 学 研 究 科	1		1			1			
教 育 学 部	3		1	2		1			
教育発達科学研究科	6	1	2			1	1		
法 学 部	7	3	3	1		3			
法 学 研 究 科	6	4	2			2			
経 済 学 部	15	8	7		1	6			
経 済 学 研 究 科	3	3							
情 報 文 化 学 部	7	3	4		1	3			
理 学 部	12	8	2	2		2			
理 学 研 究 科	6	3	3			2	1		
医 学 部	医学科	8	5	3		2	2	1	
	保健学科	18	9	8	1	3	5		
医学系研究科	医学系	9	6	1	2		1		
	保健学系	3	1	1	1			1	
工 学 部	24	12	9	3	3	5	1		
工 学 研 究 科	15	1	2		2	4			
農 学 部	3	1	2			2			
生 命 農 学 研 究 科	8	2	6		2	4			
国 際 開 発 研 究 科	8	4	2	2		2			
人 間 情 報 学 研 究 科	1		1			1			
多 元 数 理 学 研 究 科	2	2							
国 際 言 語 文 化 研 究 科	6		3	3	2	1			
環 境 学 研 究 科	4	2	2			2			
情 報 学 研 究 科	5	2	3			1	2		
法・専門職学位課程	3	1	1	1		1			
そ の 他	1		1			1			
計	学部	109	56	43	10	8	31	4	
	研究科	87	32	35	20	6	24	5	
合 計	196	88	78	30	14	55	9		

平成19年度 糖 再検査・精密検査結果

学部・研究科	対象者数	再 検 査			精 密 検 査				
		異常なし	要精検	未受検	D 3	D 2	D 1	C 1	未受検
文 学 部									
文 学 研 究 科	2	1	1				1		
教 育 学 部	1	1							
教育発達科学研究科									
法 学 部	1	1							
法 学 研 究 科									
経 済 学 部	1		1				1		
経 済 学 研 究 科									
情 報 文 化 学 部									
理 学 部	3	3							
理 学 研 究 科									
医 学 部									
医学部	3	3							
医学系研究科									
工学部	9	7	1	1			1		
工 学 研 究 科	9	8	1		1				
農 学 部	2	2							
生 命 農 学 研 究 科	1	1							
国 際 開 発 研 究 科									
人 間 情 報 学 研 究 科									
多 元 数 理 学 研 究 科									
国 際 言 語 文 化 研 究 科									
環 境 学 研 究 科									
情 報 学 研 究 科									
法・専門職学位課程									
そ の 他	1		1			1			
計	20	17	2	1	0	0	2		
学 部	13	10	3	0	1	1	1		
研 究 科									
合 計	33	27	5	1	1	1	3		

平成19年度 血圧 再検査・精密検査結果

学部・研究科	対象者数	再 検 査			精 密 検 査				備 考
		異常なし	要精検	未受検	D 3	D 2	D 1	未受検	
文 学 部	3	2					1		治療中
文 学 研 究 科	1						1		治療中
教 育 学 部									
教育発達科学研究科	2	1					1		治療中
法 学 部	1	1							
法 学 研 究 科	1			1					
経 済 学 部	2	2							
経 済 学 研 究 科									
情 報 文 化 学 部	1						1		治療中
理 学 部									
理 学 研 究 科									
医 学 部									
医学部	5	3		2					
医学部	3	3							
医学系研究科									
医学系研究科	3	2		1					
工学部	7	7							
工 学 研 究 科	8	5				1	2		治療中 2
農 学 部									
生 命 農 学 研 究 科									
国 際 開 発 研 究 科									
人 間 情 報 学 研 究 科									
多 元 数 理 学 研 究 科	1	1							
国 際 言 語 文 化 研 究 科									
環 境 学 研 究 科	1						1		治療中
情 報 学 研 究 科	2	2							
法・専門職学位課程	1	1							
そ の 他									
計	22	18	0	2	0	0	2	0	
学 部	20	12	0	2	0	1	5	0	
研 究 科									
合 計	42	30	0	4	0	1	7	0	

平成19年度 心臓 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分			未受検	備考
		D3	D2	D1		
文学部	2	1			1	
文学研究科	1	1				
教育学部	1		1			
教育発達科学研究科						
法学部	4	1	2		1	
法学研究科	1	1				
経済学部	2	1		1		
経済学研究科						
情報文化学部	1		1			
理学部	7	5	1	1		
理学研究科	1		1			
医学部	医学科	1	1			
	保健学科	2	1			
医学系研究科	医学系			1		
	保健学系					
工学部	15	7	7	1		
工学研究科	5	3	1		1	
農学部	3	3				
生命農学研究科	2		2			
国際開発研究科	2				2	
人間情報学研究科						
多元数理科学研究科	2	1	1			
国際言語文化研究科						
環境学研究科						
情報科学研究科	4	2			2	
法・専門職学位課程						
その他						
計	学部	38	20	12	4	2
	研究科	18	8	5	0	5
合計	56	28	17	4	7	

平成19年度 栄養 (BMI30) 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分			未受検	備考
		D3	D2	D1		
文学部	2	2				
文学研究科	2	1	1			
教育学部	1				1	
教育発達科学研究科	1		1			
法学部	4	1	2		1	
法学研究科						
経済学部	4	1	3			
経済学研究科	1		1			
情報文化学部	4	1	3			
理学部	12	3	6		3	
理学研究科	2		2			
医学部	医学科	3	2	1		
	保健学科	6	1	5		
医学系研究科	医学系	1		1		
	保健学系					
工学部	26	7	14		5	
工学研究科	8	3	4		1	
農学部	1		1			
生命農学研究科	4	1	2		1	
国際開発研究科	3	1	1		1	
人間情報学研究科						
多元数理科学研究科	1				1	
国際言語文化研究科	3				3	
環境学研究科	5	1	4			
情報科学研究科	3	1	2			
法・専門職学位課程	1		1			
その他						
計	学部	63	18	35	0	10
	研究科	35	8	20	0	7
合計	98	26	55	0	17	

平成19年度 るい瘦 (BMI15) 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分				備考
		D3	D2	D1		
文学部						
文学研究科						
教育学部						
教育発達科学研究科						
法学部						
法学研究科						
経済学部	1	1				
経済学研究科						
情報文化学部						
理学部						
理学研究科						
医学部						
医学系研究科						
医学系研究科	1			1		
工学部						
工学研究科						
農学部						
生命農学研究科	1	1				
国際開発研究科						
人間情報学研究科						
多元数理科学研究科						
国際言語文化研究科						
環境学研究科						
情報科学研究科						
法・専門職学位課程						
その他						
計	2	1	0	1		
学部研究科	1	1	0	0		
合計	3	2	0	1		

平成19年度 貧血 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分				備考
		D3	D2	D1		
文学部	3	3				
文学研究科	3	2		1		
教育学部						
教育発達科学研究科	1	1				
法学部						
法学研究科						
経済学部	4	4				
経済学研究科						
情報文化学部						
理学部						
理学研究科	1	1				
医学部						
医学系研究科						
医学系研究科	3	3				
工学部	1	1				
工学研究科						
農学部	3	3				
生命農学研究科						
国際開発研究科						
人間情報学研究科						
多元数理科学研究科						
国際言語文化研究科	1		1			
環境学研究科	1	1				
情報科学研究科						
法・専門職学位課程						
その他						
計	14	14	0	0		
学部研究科	7	5	1	1		
合計	21	19	1	1		

平成19年度 甲状腺 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分				備考
		D3	D2	D1		
文学部						
文学研究科						
教育学部						
教育発達科学研究科						
法学部						
法学研究科						
経済学部						
経済学研究科						
情報文化学部						
理学部						
理学研究科						
医学部	1	1				
医学系研究科						
医学部 保健学科 医学系 保健学系						
工学部						
工学研究科						
農学部						
生命農学研究科						
国際開発研究科						
人間情報学研究科						
多元数理科学研究科						
国際言語文化研究科						
環境学研究科						
情報科学研究科	1	1				
法・専門職学位課程						
その他						
計	1	1	0	0		
学部研究科	1	1	0	0		
合計	2	2	0	0		

平成19年度 肝臓 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分				備考
		D3	D2	D1		
文学部						
文学研究科	1	1				
教育学部						
教育発達科学研究科						
法学部	1	1				
法学研究科						
経済学部						
経済学研究科						
情報文化学部						
理学部						
理学研究科						
医学部						
医学系研究科						
医学部 保健学科 医学系 保健学系						
工学部						
工学研究科	1		1			
農学部						
生命農学研究科						
国際開発研究科	1		1			
人間情報学研究科						
多元数理科学研究科						
国際言語文化研究科						
環境学研究科						
情報科学研究科						
法・専門職学位課程						
その他						
計	1	1	0	0		
学部研究科	3	2	1	0		
合計	4	3	1	0		

表 1

01 01 定期健康診断 内科系(学生) 受診カード (名古屋大学)

検査日	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日	この太枠内を 記入して下さい	生年月日 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日		
	連絡先(研究室) TEL _____		(自宅)TEL () - _____		
学生番号	<input type="text"/>	学部 _____	学科 _____	年 _____ クラス _____ 番 _____	
		ふりがな 氏名 _____	()才	男・女	
過去および現在の病気。あれば該当項目に○を記入して下さい。					
<input type="checkbox"/> 肺結核 <input type="checkbox"/> 気胸 <input type="checkbox"/> 気管支喘息 <input type="checkbox"/> 心臓病 <input type="checkbox"/> 胃腸病 <input type="checkbox"/> 肝臓病 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 腎臓病 <input type="checkbox"/> 甲状腺疾患 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 貧血 <input type="checkbox"/> その他 ()					
身長	<input type="text"/> . <input type="text"/> cm	心音	<input type="checkbox"/> (正常) <input type="checkbox"/> (要心精検)		
体重	<input type="text"/> . <input type="text"/> kg	栄養再検	体重 <input type="text"/> . <input type="text"/> kg <input type="checkbox"/> (正常) <input type="checkbox"/> (要精検)		
栄養	<input type="checkbox"/> (正常) <input type="checkbox"/> (肥満) <input type="checkbox"/> (るいそう)				
尿	蛋白	<input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/> ± <input type="checkbox"/> + <input type="checkbox"/> ++	尿再検	蛋白 <input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/> ± <input type="checkbox"/> + <input type="checkbox"/> ++	
	潜血	<input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/> ± <input type="checkbox"/> + <input type="checkbox"/> ++		潜血 <input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/> ± <input type="checkbox"/> + <input type="checkbox"/> ++	
	糖	<input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/> ± <input type="checkbox"/> + <input type="checkbox"/> ++		糖 <input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/> ± <input type="checkbox"/> + <input type="checkbox"/> ++	
血圧	収縮期 <input type="text"/> 拡張期 <input type="text"/> mmHg (判定) <input type="checkbox"/> (正常) <input type="checkbox"/> (要再検) 心拍数 <input type="text"/>	血圧再検	収縮期 <input type="text"/> 拡張期 <input type="text"/> mmHg (判定) <input type="checkbox"/> (正常) <input type="checkbox"/> (要精検) 心拍数 <input type="text"/>		
胸部X線 〔間接〕	フィルム番号 <input type="text"/> (所見) <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> (判定) <input type="checkbox"/> (正常) <input type="checkbox"/> (有所見) 放置可 <input type="checkbox"/> (要直接) <input type="checkbox"/> (要心精検)	胸部X線 〔直接〕	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 (所見) <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> (判定) <input type="checkbox"/> (正常) <input type="checkbox"/> (有所見) 放置可 <input type="checkbox"/> (要観察) (<input type="checkbox"/> 3か月 <input type="checkbox"/> 6か月 <input type="checkbox"/> 1年) <input type="checkbox"/> (要医療) <input type="checkbox"/> (要心精検)		
聴力	<input type="checkbox"/> (会話域正常) <input type="checkbox"/> (会話域異常)				
視力	右 [裸眼] <input type="text"/> . <input type="text"/> 左 <input type="text"/> . <input type="text"/>	[矯正] <input type="text"/> . <input type="text"/> <input type="text"/> . <input type="text"/>	CL使用	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
他の精密検査	<input type="checkbox"/> 肝炎 <input type="checkbox"/> 甲状腺 <input type="checkbox"/> 貧血 <input type="checkbox"/> その他 ()				
判定	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり				
特記事項	<input type="text"/>				

(注意) この用紙を折り曲げないで下さい。 記入例 0123456789○

表 1

身長		cm	体重	kg	胸部 X 線	間接 No.	受付番号
受診日	平成	年	月	日	正常・肥満・るい漢 貧血・肝炎・甲状腺疾患	正常・精検・未受検 正常・精検・未受検	判定 1. 異常なし 2. 異常あり 生活規正：不要 要注意 要軽業 要休業 医療：不要 要観察 要医療 3. 再検・精検を受けていないため判定 ができません。
学部	研究科	学	科	専攻			
学生番号	性別	男・女	生	年	日	脚部 所見	判定 1. 異常なし 2. 異常あり 生活規正：不要 要注意 要軽業 要休業 医療：不要 要観察 要医療 3. 再検・精検を受けていないため判定 ができません。
氏名	ふりがな	姓	名	姓	名	心臓影 所見	
現住所	〒	電	話	()	心音	心音 再検	指導 1. 健康相談に年・月・週 回来てく ださい。 2. 医療機関にかかってください。
電話	()	脈	拍	()	精	検	
視		右	()	左	糖	尿	名古屋大学総合保健体育科学センター 保健管理室 Ⅲ789-3970 又は 3969 医師名
力		右	()	左	糖	尿	

表紙内をボールペンで力を入れて記入すること。
(3枚複写)

〔注意〕
受診カード(本人用)は後日、各学部の教務
学生課を通じ返却します。
各自で保健の上、診断書の発行を受ける際は
提示すること。

(本人用)

(研究 生 用)

健康個人調査

20 _____ 年度	連絡先 TEL (_____) _____																								
学生番号 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> _____	_____ 学 部 _____ 学科 _____ 研究科 _____ 専攻 _____ 学年																								
ふりがな 氏 名 _____ (_____ 才) 男・女																									
<p>〔1〕 過去1年間の健康状況 <input type="checkbox"/> (おおむね健康であった) <input type="checkbox"/> (病気したが休むほどではなかった)</p> <p>(いずれかに○を記入して下さい) <input type="checkbox"/> (病気のため休んだ) <input type="checkbox"/> (今も病気にかかっている)</p> <p>〔2〕 最近感じていること (はい・いいえ) のいずれかに○を記入して下さい</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">1. ちょっとしたことでも気になって仕方がないですか</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>2. すぐかあとなったり、いらいらしますか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>3. 寝つきが悪かったり、眠ってもすぐ目を覚ますことがありますか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>4. 自分の健康のことが気になって仕方がないですか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>5. 同じ動作をくりかえしたり同じ概念がいつも頭から離れなかったりすることがありますか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>6. 自分と周囲とがぼんやりとしていてあたかもガラスで仕切られているような気がしますか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>7. 自分の心の中のことが他人に知られているように感ずることがありますか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>8. 自分の体臭や視線が他人に迷惑をかけていると思うことがありますか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>9. 他人がさげたり、人に監視されていると思うことがありますか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>10. なにもやる気がなくなり、ぼんやりとしていることがありますか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>11. 孤独感を強く感じたりすることがありますか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> <tr> <td>12. 自殺したいと思うことがありますか</td> <td style="text-align: right;">(はい・いいえ)</td> </tr> </table> <p>〔3〕 現在、心身の健康について医師に相談したい事がありますか <input type="checkbox"/> (ある) <input type="checkbox"/> (ない)</p> <p>(どちらかに○を記入して下さい)</p> <p>〔4〕 自分の健康 (身体・精神) について何か問題があれば遠慮なく記入して下さい。</p> <p>(例：性格の悩み、対人関係の悩み、不安、抑うつなど)</p>		1. ちょっとしたことでも気になって仕方がないですか	(はい・いいえ)	2. すぐかあとなったり、いらいらしますか	(はい・いいえ)	3. 寝つきが悪かったり、眠ってもすぐ目を覚ますことがありますか	(はい・いいえ)	4. 自分の健康のことが気になって仕方がないですか	(はい・いいえ)	5. 同じ動作をくりかえしたり同じ概念がいつも頭から離れなかったりすることがありますか	(はい・いいえ)	6. 自分と周囲とがぼんやりとしていてあたかもガラスで仕切られているような気がしますか	(はい・いいえ)	7. 自分の心の中のことが他人に知られているように感ずることがありますか	(はい・いいえ)	8. 自分の体臭や視線が他人に迷惑をかけていると思うことがありますか	(はい・いいえ)	9. 他人がさげたり、人に監視されていると思うことがありますか	(はい・いいえ)	10. なにもやる気がなくなり、ぼんやりとしていることがありますか	(はい・いいえ)	11. 孤独感を強く感じたりすることがありますか	(はい・いいえ)	12. 自殺したいと思うことがありますか	(はい・いいえ)
1. ちょっとしたことでも気になって仕方がないですか	(はい・いいえ)																								
2. すぐかあとなったり、いらいらしますか	(はい・いいえ)																								
3. 寝つきが悪かったり、眠ってもすぐ目を覚ますことがありますか	(はい・いいえ)																								
4. 自分の健康のことが気になって仕方がないですか	(はい・いいえ)																								
5. 同じ動作をくりかえしたり同じ概念がいつも頭から離れなかったりすることがありますか	(はい・いいえ)																								
6. 自分と周囲とがぼんやりとしていてあたかもガラスで仕切られているような気がしますか	(はい・いいえ)																								
7. 自分の心の中のことが他人に知られているように感ずることがありますか	(はい・いいえ)																								
8. 自分の体臭や視線が他人に迷惑をかけていると思うことがありますか	(はい・いいえ)																								
9. 他人がさげたり、人に監視されていると思うことがありますか	(はい・いいえ)																								
10. なにもやる気がなくなり、ぼんやりとしていることがありますか	(はい・いいえ)																								
11. 孤独感を強く感じたりすることがありますか	(はい・いいえ)																								
12. 自殺したいと思うことがありますか	(はい・いいえ)																								

※定期健康診断以外には使用することはありません。

2) 秋期健康診断（留学生健康診断）

5月以降に来日した学生に対して、10月に健康診断を実施している。健診項目は4月の定期健康診断と同じである。

また、今年度4月の健康診断時、学部新1年生で未受診の学生が多数いたため胸部X線検査のみ実施した。（胸部X線検査は2年生以上希望）

平成19年度 秋期健康診断 受診結果

学部・研究科	秋期留学生			春期健診学部1年未受検者		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	胸部X線検査受検者数	1年合計受診率
文学部・文学研究科	23	21	87.0%	5	1	97.0%
教育学部・教育発達科学研究科	12	9	75.0%	0		100.0%
法学部・法学研究科	40	36	90.0%	6	1	96.9%
経済学部・経済学研究科	11	11	100.0%	11		95.0%
情報文化学部	3	2	66.7%	2		97.3%
理学部・理学研究科	6	4	66.7%	20		93.2%
医学部・医学系研究科 医学	17	16	94.1%	6		94.0%
保健学	0			1		99.5%
工学部・工学研究科	47	45	95.7%	22	1	97.5%
農学部・生命農学研究科	5	4	80.0%	1		99.4%
国際開発研究科	15	7	46.7%	—	—	
多元数理科学研究科	0			—	—	
国際言語文化研究科	14	14	100.0%	—	—	
環境学研究科	8	7	87.5%	—	—	
情報科学研究科	4	3	75.0%	—	—	
留学生センター	2	2	100.0%	—	—	
その他の	43	41	95.3%	—	—	
合計	250	221	88.4%	74	3	96.9%

*以下 学部・研究科は略し、対象外は含まず。

3) 特殊健康診断

本健診は放射線（表3）あるいは有害物質を取り扱う（表4、5）学生に対して行うものである。健診項目および健診結果を表に示した。

I. 放射線同位元素等を取り扱う実験・実習に従事する学生

平成19年度 特殊健康診断受検状況（放射線従事学生対象）

1. 皮膚検査

学部・研究科	継続者	新規従事者 及び 要観察者						受検者の検査結果			合計
	検査不要	第1回	第2回	第3回	第4回	他機関	計	異常なし	D-2要観察	D-1要医療	
文学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
理学部	363	145	8	5	98	0	256	253	3		619
医学部・医学	92	52	8	4	0	6	70	67	3		162
医学部・保健学	107	48	0	0	43	1	92	92	0		199
工学部	397	218	30	29	41	5	323	311	12		720
農学部	185	72	33	5	3	0	113	111	2		298
情報文化・情報科学	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
環境学研究科	22	5	1	1	0	1	8	8	0		30
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
合計	1,166	540	80	44	185	13	862	842	20	0	2,028

2. 眼の検査

学部・研究科	継続者	新規従事者 及び 要観察者						受検者の検査結果			合計
	検査不要	第1回	第2回	第3回	第4回	他機関	計	異常なし	D-2要観察	D-1要医療	
文学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
理学部	361	145	9	5	99	0	258	257	1		619
医学部・医学	92	52	8	4	0	6	70	69	1		162
医学部・保健学	107	48	0	0	43	1	92	92	0		199
工学部	392	218	35	29	41	5	328	326	2		720
農学部	184	72	34	5	3	0	114	113	1		298
情報文化・情報科学	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
環境学研究科	21	5	2	1	0	1	9	8	1		30
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
合計	1,157	540	88	44	186	13	871	865	6	0	2,028

3. 血液検査

学部・研究科	継続者	新規従事者 及び 要観察者						受検者の検査結果			合計
	検査不要	第1回	第2回	第3回	第4回	他機関	計	異常なし	D-2要観察	D-1要医療	
文学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
理学部	359	145	11	5	99	0	260	250	10		619
医学部・医学	92	52	8	4	0	6	70	69	1		162
医学部・保健学	107	48	0	0	43	1	92	90	2		199
工学部	395	218	31	30	41	5	325	316	9		720
農学部	182	72	35	5	3	0	115	110	5		297
情報文化・情報科学	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
環境学研究科	22	5	1	1	0	1	8	7	1		30
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
合計	1,157	540	86	45	186	13	870	842	28	0	2,027

前年血液要観察者1名第1回検査時希望者で受検済み

放射線を取り扱う学生の特殊健康診断実施要領

名古屋大学において放射線業務（R I，放射線発生装置，X線発生装置等を用いた実習，実験，診療等）を行う学生（学部生，大学院生，研究生等）は以下に従い，「特殊健康診断」を受けなければならない。

対象者区分

1. 新規従事者：

1) 新たに放射線業務を行う者：

問診および検査（血液，皮膚，眼の検査）が必須である。その後の健康診断は，継続従事者に準じて実施する。

2. 継続従事者

1) 継続して放射線業務を行う者：

一年を超えない期間ごとに問診を必ず受け，必要に応じて検査（血液，皮膚，眼の検査）を受けなくてはならない。

2) 放射線業務あるいは従事者登録の期間にブランクがある者（過去にR Iを取り扱ったがその後放射線作業をせず放射線従事者としての登録をしていない者，海外留学などで放射線業務に中断期間がある者等）：

放射線業務を始める前に問診を必ず受け，必要に応じて検査（血液，皮膚，眼の検査）を受けなくてはならない。所属部局の放射線取扱主任者は中断期間等について被曝歴等の調査，判定を行う。

放射線業務従事者特殊健康診断問診受検票（以下，問診受検票という）

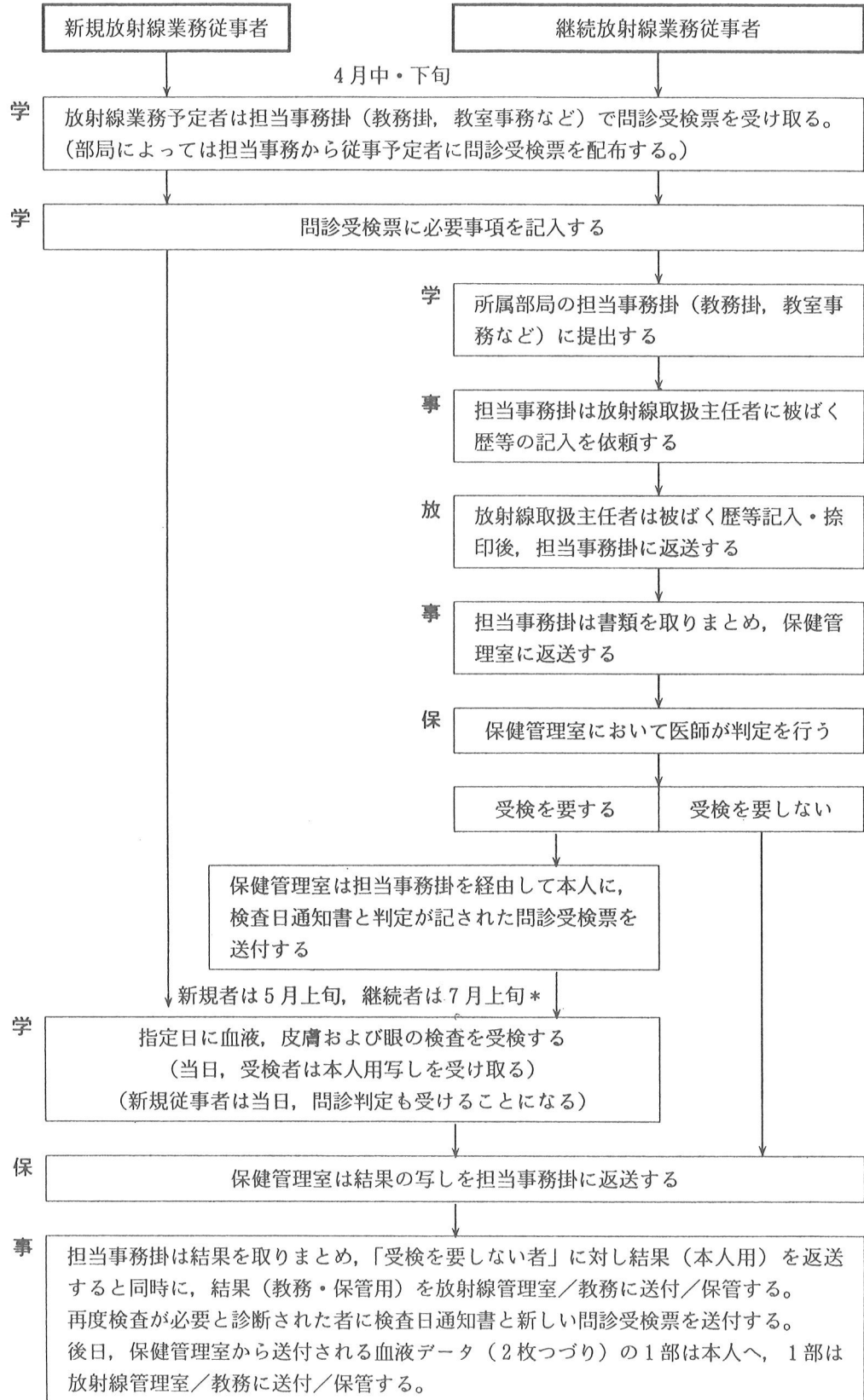
1. 本人用，教務掛・放射線管理室用，保健管理室用の三枚複写になっている。
2. 年度当初に保健管理室から各部局教務掛に配布されたものを「手続きの流れ」に沿って処理する。

その他

1. 名古屋大学保健管理室での血液検査は採血日を持って検査完了とみなす。但し，後日保健管理室から送付される血液データ（2枚つづり）を，教務掛は一部を本人に配布するとともに一部を保管または放射線管理室に送付する。
2. 健康診断結果（問診受検票および血液検査データ）は本人保管を原則とする。本人は放射線管理室からの依頼に応じてその写しを提出する義務がある。提出のない場合は放射線業務従事者としての登録ができない。
3. 急なR I業務開始や予定外のR I業務等で特殊健康診断を受ける必要がある場合，年間健診予定期日に関し保健管理室の確認・了解を得て受診することができる。
4. 放射線取扱主任者，保健管理室長は被曝予想が5 mSv以下であっても必要に応じて検査を勧告できる。また本人も検査を希望・受診することができる。
5. 妊娠中・妊娠の可能性のある女子従事者は放射線取扱主任者にその旨照会する。

特殊健康診断の手続きの流れ【学生】

各枠外に主たる作業者を 学：学生，事：事務掛，放：主任者，保：保健管理室 で示した。



*：特殊健康診断予定期間はここに示した時期を含め年4回設けられている。

折り曲げ厳禁

要保管

放射線を扱う業務に必要です。この用紙は後日送付される血液結果と共に必ず保管してください。

放射線業務従事者特別健康診断問診受検票 (略：問診受検票)

No. **本人用**

平成【 】年度		学 生	
学 生 番 号		記 入 年 月 日	年 月 日
フリガナ		性 別	男 ・ 女
氏 名		生 年 月 日	年 月 日 生
学 部 研究科	学 科 専 攻	コ ー ス (B ・ M ・ D) 研 究 室	*学部・所属変更 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (前所属：)
電話又は内線番号			

★従事者記入欄：以下の項目は従事者自身が記入してください。該当区分にチェックし、必要事項も記入してください。

対象区分 調査	<input type="checkbox"/> 新規従事者	初めて放射線業務に従事予定の者 (本年度から放射線業務に従事予定で、以前に放射線業務従事者登録をしたことがない者) ※指定された日時に、この用紙を持参して特別健康診断を受検してください。 (該当者はチェック) <input type="checkbox"/> 本年度の初回特別健康診断開催前に放射線業務に従事するために、前年度末の特別健康診断を受診済みの者 <small>※継続従事者と同時手続きとします。この用紙に前回の受検票の写しを添付し、指定の期日までに、所定の事務担当者へ提出してください。</small>
	<input type="checkbox"/> 継続従事者	以前から放射線業務に従事している者 ※指定日までに、この用紙を所定の事務担当者へ提出してください。
I] 本年度春期定期健康診断： <input type="checkbox"/> 受 診 <input type="checkbox"/> 未受診		
II] 業務内容調査：		
① 本年度の業務予定内容： <input type="checkbox"/> 非密封R I の取扱い <input type="checkbox"/> 密封R I の取扱い <input type="checkbox"/> 加速器の取扱い <input type="checkbox"/> エックス線装置の取扱い <input type="checkbox"/> 核燃料物質の取扱い <input type="checkbox"/> 管理区域への立ち入り <input type="checkbox"/> その他 (具体的に：)		
② 本年度の業務予定場所： <input type="checkbox"/> 所属部局内 <input type="checkbox"/> 大学内 (具体的に：) <input type="checkbox"/> 他の事業所 (具体的に：)		
③ 前の業務場所： <input type="checkbox"/> 本年度と同じ <input type="checkbox"/> 異なる (具体的に：) <input type="checkbox"/> 本年度から従事		
新規従事者 (放射線業務未従事者) は以下記入不要		
④ 業務内容の変更、従事時間数の増加、その他の理由による被曝線量の増加が見込まれますか？ <input type="checkbox"/> 被曝線量減少又は同程度の予定 <input type="checkbox"/> 被曝線量増加予定 (線量予想、原因：)		
III] 自覚症状調査：放射線業務に関連して、身体に関して心配事がありましたら記入してください。 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (具体的に：)		

★主任者記入欄 (継続従事者のみ)：以下の項目は放射線取扱主任者が記入します。

前年度の特別健康診断 (検査) 受検状況 (全てでない場合、検査項目に○をつける) <input type="checkbox"/> 受検済み <input type="checkbox"/> 受検不要 <input type="checkbox"/> 未受検 (皮膚・眼・血液) (皮膚・眼・血液) (皮膚・眼・血液)	いずれかにチェック <input type="checkbox"/> 前年度従事している <input type="checkbox"/> 本年度より従事 <input type="checkbox"/> 以前従事：平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
前年度の (前年特別健康診断後) 被曝線量	実効線量 水 晶 体 皮 膚 女子腹部 過去の被曝歴 <input type="checkbox"/> 検出限界未満 <input type="checkbox"/> 検出限界未満 <input type="checkbox"/> 検出限界未満 <input type="checkbox"/> 検出限界未満 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある (特記事項欄に作業の場所、内容、期間、線量、放射線障害の有無、自覚症状の有無その他放射線による影響の状況を記入) <input type="checkbox"/> mSv <input type="checkbox"/> mSv <input type="checkbox"/> mSv <input type="checkbox"/> mSv 特記事項 <input type="checkbox"/> 前回の特別健康診断後従事歴なし (前回特別健康診断 年度)
本年度の被曝予測：5 mSv を超えるおそれが <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある	
上記のとおりであることを認めます。 平成 年 月 日 放射線取扱主任者 印	

★保健管理室記入欄：以下の項目は保健管理室が記入します。

問診項目の結果より、本年度の特別健康診断については			
	新規従事者	継続従事者	実施場所
皮膚検査	<input type="checkbox"/> 必要でない	<input type="checkbox"/> 必要である	名大保健管理室 他 () 平成 年 月 日 医師名 印
眼の検査	<input type="checkbox"/> 必要でない	<input type="checkbox"/> 必要である	名大保健管理室 他 () 平成 年 月 日 医師名 印
血液検査	<input type="checkbox"/> 必要でない	<input type="checkbox"/> 必要である	名大保健管理室 他 () 平成 年 月 日 医師名 印
*血液検査必須項目：赤血球数、血色素量又はヘマトクリット値、白血球数、白血球百分率			
平成 年 月 日 保健管理室長 近 藤 孝 晴 印			

II. 有害物質を取り扱う実験・実習に従事する学生

平成19年度 有害物質等従事学生の調査及び検査結果

調査結果

健康診断結果

学部・研究科	有害物質取扱者	健康診断希望者	受検者
理学部	331	134	90
医学部・医学	44	23	10
医学部・保健学	27	0	0
工学部	502	281	227
農学部	174	62	43
環境学研究科	4	3	2
情報文化・情報科学	10	6	5
合計	1,092	509	377

検査	学部・研究科	受検者	受 検 結 果				
			異常なし	要観察	要医療	再検査	未受検
皮 膚	理	90	89	1			
	医	10	10				
	保健	0	0				
	工	227	226	1			
	農	43	43				
	環境	2	2				
	情報	5	5				
計	377	375	2		0	0	
眼	理	90	90				
	医	10	10				
	保健	0	0				
	工	227	226		1		
	農	43	43				
	環境	2	2				
	情報	5	5				
計	377	376	0	1	0	0	
血 液	理	90	78	6		6	
	医	10	7	3			
	保健	0	0				
	工	227	184	26		17	
	農	42	35	3		4	1
	環境	2	2				
	情報	5	2	1		2	
計	376	308	39	0	29	1	
尿	理	83	77	1		5	7
	医	10	9			1	
	保健	0	0				
	工	218	199	4		15	9
	農	39	34	2		3	4
	環境	2	2				
	情報	5	4	1			
計	357	325	8	0	24	20	
そ の 他	理	90	90				
	医	10	10				
	保健	0	0				
	工	227	227				
	農	43	43				
	環境	2	2				
	情報	5	5				
計	377	377	0	0	0	0	

* その他……握力・バセドウ氏病・視診・四肢機能

平成 年度

特別有害業務等従事状況確認票（学生）

※太枠内をボールペンで力を入れて記入して下さい。(年号、氏名、希望欄複写)

学部		学科	
研究科		専攻	
学生番号			年
フリガナ			
氏名			

特別健康診断を

- 1 希望する
- 2 希望しない

実験実習等に従事することによって生じる健康上の問題について検査及び健康相談を希望するかどうかを回答して下さい。該当がない場合は提出する必要がありません。

本年度の特殊健康診断等の受検対象者を確認するため、次に掲げる実験実習に常時従事した場合には、○を付けて、指定日までに所属部局の事務提出してください。

特定 イ	高熱物体および、暑熱な場所における業務	有機 48	ガンリン
特定 カ	その他労働厚生大臣が定める業務	有機 49	コールターナフサ
特定 ス	深夜業を含む業務	有機 50	石油エーテル
特定 ロ	低温物質および、寒冷な場所における業務	有機 51	石油ナフサ
特定 リ	病原体によって汚染のおそれが著しい業務	有機 52	石油ベンジン
給食 01	調理、配膳等給食のため食品を取り扱う業務	有機 53	テレピン油
有機 01	アセトン	有機 54	ミネラルスピリット
有機 02	インブチルアルコール	有機 55	前各号に掲げる物のみから成る混合物
有機 03	インプロピルアルコール	鉛 01	鉛の製練又は精練を行う工程における業務
有機 04	イソペンチルアルコール	鉛 02	銅又は亜鉛の製練又は精練を行う工程における業務
有機 05	エチルエーテル	鉛 03	鉛蓄電池の部品を製造、修理、又は解体する工程の業務
有機 06	エチレングリコールモノエチルエーテル	鉛 04	電線又はケーブルを製造する工程における業務
有機 07	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	鉛 05	鉛合金の製品を製造、修理、解体する工程の業務
有機 08	エチレングリコールモノブチルエーテル	鉛 06	鉛化合物を製造する工程における業務
有機 09	エチレングリコールモノメチルエーテル	鉛 07	鉛ライニングの業務[仕上げの業務を含む]
有機 10	オルト-ジクロロベンゼン	鉛 08	含鉛塗料を塗布した物の加工又はかき落しの業務
有機 11	キシレン	鉛 09	鉛装置の内部における業務
有機 12	クレゾール	鉛 10	鉛装置の破砕、溶接、溶断又は切断の業務
有機 13	クロロベンゼン	鉛 11	転写紙を製造する工程における鉛等の粉払いの業務
有機 14	クロロホルム	鉛 12	合成樹脂等の製品を製造する工程における業務
有機 15	酢酸イソブチル	鉛 13	自然換気が不十分な場所におけるはんだ付けの業務
有機 16	酢酸イソプロピル	鉛 14	鉛化合物を含有する塗料の焼成の業務
有機 17	酢酸イソペンチル	鉛 15	鉛化合物を含有する絵具の焼成の業務
有機 18	酢酸エチル	鉛 16	溶融した鉛を用いて行なう業務
有機 19	酢酸ブチル	鉛 17	動力を用いて印刷する工程における業務
有機 20	酢酸プロピル	鉛 18	前各号に掲げる業務を行なう作業場所清掃の業務
有機 21	酢酸ペンチル	特化 002	ベンジン及びその塩
有機 22	酢酸メチル	特化 003	四-アミノジフェニル及びその塩
有機 23	四塩化炭素	特化 004	四-ニトロジフェニル及びその塩
有機 24	シクロヘキサノール	特化 005	ビス[クロロメチル]エーテル
有機 25	シクロヘキサノン	特化 006	ベーターナフチルアミン及びその塩
有機 26	1, 4-ジオキサン	特化 007	ベンゼンゴムのり
有機 27	1, 2-ジクロロエタン	特化 008	アモサイト
有機 28	1, 2-ジクロロエチレン	特化 009	クロソドライト
有機 29	ジクロロメタン	特化 101	ジクロロベンジン及びその塩
有機 30	N, N-ジメチルホルムアミド	特化 102	アルファ-ナフチルアミン及びその塩
有機 31	スチレン	特化 103	塩素化ビフェニル[PCB]
有機 32	1・1・2・2-テトラクロロエタン	特化 104	オルト-トリジン及びその塩
有機 33	テトラクロロエチレン	特化 105	ジアニジン及びその塩
有機 34	テトラヒドロフラン	特化 106	ベリリウム及びその化合物
有機 35	1, 1, 1-トリクロロエタン	特化 107	ベンゾトリクロリド
有機 36	トリクロロエチレン	特化 201	アクリルアミド
有機 37	トルエン	特化 202	アクリロニトリル
有機 38	二硫化炭素	特化 203	アルキル水銀化合物
有機 39	ノルマルヘキサン	特化 205	エチレンイミン
有機 40	1-ブタノール	特化 206	塩化ビニル
有機 41	2-ブタノール	特化 207	塩素
有機 42	メタノール	特化 208	オーラミン
有機 43	メチルイソブチルケトン	特化 209	オルト-フタロジニトリル
有機 44	メチルエチルケトン	特化 210	カドミウム及びその化合物
有機 45	メチルシクロヘキサノール	特化 211	クロム酸及びその塩
有機 46	メチルシクロヘキサノン	特化 212	クロロメチルメチルエーテル
有機 47	メチルブチルケトン	特化 213	五酸化バナジウム

*裏面もご記入ください。

本年度の特殊健康診断等の受検対象者を確認するため、次に掲げる実験実習に常時従事した場合には、○を付けて、指定日までに所属部局の事務に提出してください。

特化	214	コールタール	じん肺	010	土石、岩石又は鉱物を掘削する場所における作業
特化	215	三酸化砒素	じん肺	020	鉱物等を積載した車の荷台をくつがえしたりする作業
特化	216	シアン化カリウム	じん肺	030	鉱物等の分類や積み込み等の作業
特化	217	シアン化水素	じん肺	040	坑内において鉱物等を運搬する作業
特化	218	シアン化ナトリウム	じん肺	050	鉱物等を充てん、又は岩粉を散布する場所での作業
特化	219	3・3`ジクロロ-4・4`ジアミノジフェニルメタン	じん肺	052	粉じんが付着した機械設備を移設、撤去、点検作業
特化	220	臭化メチル	じん肺	060	岩石又は鉱物を裁断する場所における作業
特化	221	重クロム酸及びその塩	じん肺	070	研磨材を吹き付けたりして研磨する作業
特化	222	水銀及びその無機化合物	じん肺	080	鉱物等を主成分とする原料を動力により破砕する作業
特化	223	トリレンジイソシアネート	じん肺	090	セメント等を袋詰めし、積みおろす場所における作業
特化	224	ニッケルカルボニル	じん肺	100	粉状のアルミニウム又は酸化チタンを袋詰めする作業
特化	225	ニトログリコール	じん肺	110	粉状の鉱石等を材料として製造する工程における作業
特化	226	パラ-ジメチルアミノアゾベンゼン	じん肺	120	ガラス又はほうろうを製造する工程における作業
特化	227	パラ-ニトロクロロベンゼン	じん肺	130	陶磁器等を製造する際の原材料を混合する工程の作業
特化	228	弗化水素	じん肺	140	炭素製品を製造する工程における作業
特化	229	ペータープロピオラクトン	じん肺	150	砂型を用いて鋳物を鋳造する工程における作業
特化	230	ベンゼン	じん肺	160	鉱物等運搬する船舶の船倉内で鉱物等をかき集める作業
特化	231	ベンタクロルフェノール及びそのナトリウム塩	じん肺	170	金属その他無機物を製錬し、溶融する工程における作業
特化	232	マゼンタ	じん肺	180	粉状の鉱物を燃焼する工程における作業
特化	233	マンガン及びその化合物	じん肺	190	耐火物を用いてかま、炉等を築造、破砕等する作業
特化	234	沃化メチル	じん肺	200	タンク内等でのアーク溶接、又はガウジングする作業
特化	235	硫化水素	じん肺	210	金属を溶射する場所における作業
特化	236	硫酸ジメチル	じん肺	220	染土の付着した草を製織したりする場所における作業
高気圧	10	高压室内業務・高山業務	じん肺	230	長大ずい道内部のホッパー等の近くの場所における作業
高気圧	20	潜水業務	石綿		石綿を取り扱う作業
四アルキル	01	四アルキル鉛を製造する業務	その他	01	紫外線・赤外線にさらされる業務
四アルキル	02	四アルキル鉛をガソリンに混入する業務	その他	02	著しい騒音を発生する屋内作業場などにおける騒音作業
四アルキル	03	前2号に掲げる業務に用いる機械の業務	その他	16	超音波接着機を取扱う業務
四アルキル	04	四アルキル鉛により汚染されているタンクの内部の業務	その他	20	キーパンチャーの業務
四アルキル	05	四アルキル鉛等を含有する残さい物を取り扱う業務	その他	23	チェーンソー使用による身体に著しい振動を与える業務
四アルキル	06	四アルキル鉛が入っているドラム缶を取り扱う業務	その他	24	チェーンソー以外の振動工具の取扱いの業務
四アルキル	07	四アルキル鉛を用いて研究を行う業務	その他	25	重量物取扱作業、介護作業等腰痛に著しい負担の作業
四アルキル	08	四アルキル鉛の汚染を除去する業務	その他	29	VDT作業(週15時間以上従事又は自覚症状がある者)
菌科	1	塩酸			
菌科	2	硝酸			
菌科	3	硫酸			
菌科	4	亜硫酸			
菌科	5	弗化水素			
菌科	6	黄燐			
菌科	7	その他菌又は指示組織に有害な物			

平成 年度

学生特別健康診断（有害）受検票

	学 部	学 科	年
	研究科	専攻	
学生番号			
フリガナ			
氏名			

特別健康診断を
1 希望する
2 希望しない

「希望」者には後日この用紙を送付します。切りとらずにこのまま確認票と共に提出して下さい。

（本人用）

健康診断日程はポスターにて確認して下さい。

尿検査があります。（容器は所属でもらってください。）

※ 特別健康診断を受診するためにはこの用紙が必要です。

本受検票と早朝尿を必ず持参してください。

検査場所：保健管理室 1F

<p>自覚症状調査</p> <p>有害物質の取り扱いに関連する健康上の問題について自覚症状や相談したいことがあれば記入してください。</p>	<p>〈自覚症状〉</p>
---	---------------

<p>診察</p> <p>口腔および鼻粘膜 (炎症、潰瘍、変色、変形)</p> <p>異常なし 要観察 要医療</p> <hr/> <p>神経(顔貌、振戦、歩行障害)</p> <p>異常なし 要観察 要医療</p> <hr/> <p>バセドウ病様症状の有無</p> <p>異常なし 要観察 要医療</p> <hr/> <p>握力</p> <p>右 左</p>	<p>皮膚科検査</p> <p>炎症、潰瘍、発疹、爪の変形、色素沈着、顔面の毛細血管拡張、血管の過敏性、凍傷、熱傷、毛のう性挫創</p> <p>異常なし 要観察 要医療</p> <hr/> <p>眼科検査</p> <p>角膜の傷害、結膜の充血、粘膜の炎症</p> <p>異常なし 要観察 要医療</p> <hr/> <p>血液検査</p> <p>血算(白血球、赤血球、血小板、Hbなど) 肝臓機能検査 (GOT、GPT、コリンエステラーゼ)</p> <p>別紙に記載</p>
<p>尿検査</p> <p>一般(蛋白、潜血、糖、ウロビリノーゲン)</p> <p>別紙に記載</p>	

保健管理室 789-3970 内線3970

3. 職員の健康診断

1) 一般定期健康診断

職員の健康診断は人事労務課厚生掛が計画を立案，統括している。

定期健康診断の実施計画，実施要領は別表の通りである。二次健診（再検査，精密検査）も実施している。必要に応じて外部機関への受診をすすめ，紹介等を行っている。

職員一般定期健康診断実施状況

検 査 項 目	対 象 人 員	実 施 時 期 (月)
胸 部 X 線 間 接 撮 影 検 査	約 5,100人	7 (12)
“ 直 接 撮 影 検 査	約 300	8・1
尿 検 査	約 5,100	7 (12)
血 圧 検 査	約 5,100	7 (12)
身 長 体 重 ・ 視 力 検 査		
肝 臓 機 能 検 査	約 2,800	7 (12)
脂 質 検 査		
貧 血 検 査		
糖 質 検 査		
心 電 図 検 査	約 2,800	7 (12)
聴 力 検 査 (1000 / 4000Hz)	約 2,800	7 (12)
胃 の X 線 間 接 撮 影 検 査	約 2,500	5
子 宮 が ん 検 査	約 1,500	9
大 腸 が ん 検 診 (便潜血反応検査)	約 2,600	2
肺 が ん 検 診 (喀痰細胞診)		8・1

職員一般定期健康診断実施要領

検 査 項 目	実施回数	対 象 者
胸 部 X 線 間 接 撮 影 検 査	年1回	全 職 員 ただし，前年度検査においてD 2以上の判定を受けた職員を除く
“ 直 接 撮 影 検 査	年1・2回	同上検査にて要精検と判定された職員及び前年度検査においてD 2以上の判定を受けた職員
尿 検 査	年1回	全職員
血 圧 検 査		
身 長 体 重 ・ 視 力 検 査		
肝 臓 機 能 検 査	年1回	35歳及び40歳以上の職員
脂 質 検 査		
貧 血 検 査		
糖 質 検 査		
心 電 図 検 査		
聴 力 検 査 (1000 / 4000Hz)	年1回	35歳・40歳及び45歳以上の職員
胃 の X 線 間 接 撮 影 検 査	年1回	40歳以上の職員で受検を希望する者
子 宮 が ん 検 査	年1回	30歳以上の女子職員で受検を希望する者
大腸がん検診 (便潜血反応検査)	年1回	40歳以上の職員で受検を希望する者

平成19年度 職員一般定期健康診断実施結果

No.	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	備 考
1	アイソトープ総合センター	6	6	0	100.0%	
2	エコトピア科学研究所	113	75	38	66.4%	
3	遺 伝 子 実 験 施 設	21	14	7	66.7%	
4	医 学 部	640	477	163	74.5%	
5	医学部附属病院	1,390	1,193	197	85.8%	
6	環境医学研究所	43	23	20	53.5%	
7	環境学 研究科	205	106	99	51.7%	
8	教 育 学 部	43	16	27	37.2%	
9	教育学部附属学校	41	20	21	48.8%	
10	経 済 学 部	47	20	27	42.6%	
11	工 学 部	525	280	245	53.3%	
12	高等教育研究センター	5	2	3	40.0%	
13	国際開発研究科	42	21	21	50.0%	
14	国際言語文化研究科	62	17	45	27.4%	
15	事 務 局	343	180	163	52.5%	
16	情報文化学部	151	70	81	46.4%	
17	情報メディア教育センター	3	3	0	100.0%	
18	情報連携基盤センター	30	17	13	56.7%	
19	生物機能開発利用研究センター	34	17	17	50.0%	
20	全学技術センター	168	109	59	64.9%	
21	総合保健体育科学センター	37	23	14	62.2%	
22	多元数理科学研究科	64	30	34	64.9%	
23	太陽地球環境研究所	45	23	22	51.1%	
24	地球水循環研究センター	33	19	14	57.6%	
25	年代測定総合研究センター	9	9	0	100.0%	
26	農学国際教育協力研究センター	7	4	3	57.1%	
27	農 学 部	217	116	101	53.5%	
28	博 物 館	11	6	5	54.5%	
29	発達心理精神科学教育研究センター	11	3	8	27.3%	
30	附 属 図 書 館	52	30	22	57.7%	
31	物質科学国際研究センター	38	25	13	65.8%	
32	文 学 部	66	22	44	33.3%	
33	保 健 学 科	116	74	42	63.8%	
34	法 学 部	75	24	51	32.0%	
35	法政国際教育協力研究センター	4	1	3	25.0%	
36	理 学 部	300	178	122	59.3%	
37	留 学 生 セ ン タ ー	17	6	11	35.3%	
38	高 等 研 究 院	20	15	5	75.0%	
39	文 系 事 務 部	104	57	47	54.8%	
40	研 究 所 事 務 部	30	10	20	33.3%	
	小 計	5,168	3,341	1,827	64.6%	
	人 間 ド ッ ク 受 検 者		1,027			

平成19年度 職員一般定期健康診断実施結果（胸部X線間接撮影）

No.	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
1	東 山 地 区	2,997	1,438	1,559	48.0%	9	58	
2	鶴 舞 地 区	2,055	1,488	567	72.4%	6	78	
3	大 幸 地 区	116	55	61	47.4%	0	1	
	小 計	5,168	2,981	2,187	57.7%	15	137	
	人間ドック受検者		1,027					
	合 計	5,168	4,008	1,160	77.6%	15	137	

平成19年度 職員一般定期健康診断実施結果（尿：蛋白・糖・潜血）

No.	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
1	東 山 地 区	2,997	1,576	1,421	52.6%	0	100	
2	鶴 舞 地 区	2,055	1,691	364	82.3%	0	92	
3	大 幸 地 区	116	72	44	62.1%	0	9	
	小 計	5,168	3,399	1,829	64.6%	0	201	
	人間ドック受検者		1,027					
	合 計	5,168	4,366	802	84.5%	0	201	

平成19年度 職員一般定期健康診断実施結果（血圧検査）

No.	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
1	東 山 地 区	2,997	1,555	1,442	51.9%	37	229	
2	鶴 舞 地 区	2,055	1,606	449	78.2%	33	102	
3	大 幸 地 区	116	60	56	51.7%	30	5	
	小 計	5,168	3,221	1,947	62.3%	100	336	
	人間ドック受検者		1,027					
	合 計	5,168	4,248	920	82.2%	100	336	

平成19年度 職員一般定期健康診断実施結果（血液検査）

No.	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
1	東 山 地 区	1,856	608	1,248	32.8%	87	223	
2	鶴 舞 地 区	797	469	328	58.8%	40	206	
3	大 幸 地 区	99	37	62	37.4%	8	13	
	小 計	2,752	1,114	1,638	40.5%	135	442	
	人間ドック受検者		1,027					
	合 計	2,752	2,141	611	77.8%	135	442	

平成19年度 職員一般定期健康診断実施結果（心電図検査）

No.	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
1	東 山 地 区	1,856	623	1,233	33.6%	3	62	
2	鶴 舞 地 区	797	469	328	58.8%	5	49	
3	大 幸 地 区	99	28	71	28.3%	0	3	
	小 計	2,752	1,120	1,632	40.7%	8	114	
	人間ドック受検者		1,027					
	合 計	2,752	2,147	605	78.0%	8	114	

平成19年度 職員健康診断実施結果（聴力：オーディオ検査）

No.	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
1	東 山 地 区	1,531	171	1,360	11.2%		11	
2	鶴 舞 地 区	614	96	518	15.6%		5	
3	大 幸 地 区	70	9	61	12.9%		1	
	小 計	2,215	276	1,939	12.5%	0	17	
	人間ドック受検者		1,027					
	合 計	2,215	1,303	912	58.8%	0	17	

平成19年度 職員健康診断実施結果（胃の検査）

No.	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
1	東 山 地 区	1,682	136	1,546	8.1%	14	10	
2	鶴 舞 地 区	716	162	554	22.6%	12	0	
3	大 幸 地 区	77	20	57	26.0%	3	18	
	小 計	2,475	318	2,157	12.8%	29	28	

平成19年度 職員健康診断実施結果（子宮がん検査）

No.	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
1	東 山 地 区	725	205	520	28.3%	3		
2	鶴 舞 地 区	744	212	532	28.5%	4		
3	大 幸 地 区	48	12	36	25.0%	1		
	小 計	1,517	429	1,088	28.3%	8	0	

平成19年度 職員健康診断実施結果（便潜血反応検査）

No.	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
1	東 山 地 区	1,706	107	1,599	6.3%	5		
2	鶴 舞 地 区	707	81	626	11.5%	5		
3	大 幸 地 区	87	9	78	10.3%	1		
	小 計	2,500	197	2,303	7.9%	11	0	

2) 特殊健康診断

本健診の実施計画およびその結果を表に示した。このうちVDT検診には、多元数理科学研究科宮尾克教授の協力を得た。

職員特殊健康診断実施計画（表6，7）

	検 査 項 目	実 施 時 期 (月)
1	血 液 検 査 (R I 従 事 者)	7・12 (5・10・11)
2	血 液 検 査 (有 害 業 務 従 事 者)	7・12
3	皮 膚 検 査 (R I 従 事 者)	7・12 (5・10・11)
4	皮 膚 検 査 (有 害 業 務 従 事 者)	7・12
5	眼 の 検 査 (R I 従 事 者)	7・12 (5・10・11)
6	眼 の 検 査 (有 害 業 務 従 事 者)	7・12
7	口 腔 検 査	7・12
8	血 圧 検 査	7・12
9	尿 検 査	7・12
10	胸 部 X 線 直 接 撮 影 検 査	8・1
11	聴 力 及 び 平 衡 機 能 等 検 査	6・11
12	整 形 外 科 系 検 査 (上 肢 ・ 肩 ・ 背 部 等)	2
13	心 肺 機 能 検 査	6・11
14	V D T 検 診	2

平成19年度 職員特殊健康診断実施結果（R I を除く業務）

検 査 項 目	回 数	対 象 者 数	受 検 者 数	受 検 率	備 考
尿 検 査	2	723	411	56.8%	
血 圧 検 査	2	22	12	54.5%	
心 肺 機 能 検 査	1	25	8	32.0%	
	2	26	4	15.4%	
聴 力 ・ 平 衡 機 能 検 査	1	49	13	26.5%	
	2	36	6	16.7%	
眼 の 検 査	1	15	7	46.7%	
	2	17	7	41.2%	
口 ぐ っ 検 査	1	379	177	46.7%	
	2	373	147	39.4%	
血 液 検 査	1	1,304	1,160	89.0%	
	2	1,250	234	18.7%	
皮 膚 検 査	1	341	132	38.7%	
	2	341	126	37.0%	
整 形 外 科 系 検 査	1	907	772	85.1%	
V D T	1	794	150	18.9%	

* 尿検査及び血圧検査の1回目は一般定期健康診断実施結果に含まれる。

平成19年度 職員特殊健康診断実施結果（放射線（R I）業務）

検査項目	回数	対象者数	検査省略者数	受検者数	備考
血液検査	1	97	791	84	
	2	148	867	92	
皮膚検査	1	101	791	75	
	2	149	867	63	
眼の検査	1	106	791	81	
	2	150	867	65	

平成19年度 職員健康診断実施結果（胸部X線直接撮影）

検査項目	回数	対象者数	受検者数	受検率	備考
一般検査	1	46	40	87.0%	
	2	55	41	74.5%	
特殊検査（特定有害）	1	111	45	40.5%	
	2	79	43	54.4%	

他院等での受診報告を含む

特定有害業務等従事状況届出票（新規）

所属
 個人番号
 氏名 殿 人事労務課厚生掛

本年度の特別定期健康診断等の受検対象者を確認するため、次に掲げる業務に従事する(した)場合には、○を付して所属部局の人事担当掛に提出してください。

特定	イ	光熱物体および、暑熱な場所における業務	有機	49	コールタールナフサ
特定	ヌ	深夜業を含む業務	有機	50	石油エーテル
特定	ロ	低温物質および、寒冷な場外における業務	有機	51	石油ナフサ
特定	ワ	病原体によって汚染のおそれが著しい業務	有機	52	石油ベンジン
給食	01	調理、配膳等給食のため食品を取り扱う業務	有機	53	テレピン油
有機	01	アセトン	有機	54	ミネラルスピリット
有機	02	イソブチルアルコール	有機	55	前各号に掲げる物のみから成る混合物
有機	03	イソプロピルアルコール	鉛	01	鉛の製錬又は精錬を行う工程における業務
有機	04	イソペンチル(7)ルアルコール	鉛	02	銅又は亜鉛の製錬又は精錬を行う工程における業務
有機	05	エチルエーテル	鉛	03	鉛蓄電池の部品を製造、修理、又は解体する工程の業務
有機	06	エチレングリコールモノエチルエーテル	鉛	04	電線又はケーブルを製造する工程における業務
有機	07	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	鉛	05	鉛合金の製品を製造、修理、解体する工程の業務
有機	08	エチレングリコールモノブチルエーテル	鉛	06	鉛化合物を製造する工程における業務
有機	09	エチレングリコールモノメチルエーテル	鉛	07	鉛ライニングの業務〔仕上げの業務を含む〕
有機	10	オルト-ジクロロベンゼン	鉛	08	含鉛塗料を塗布した物の加工又はかき落しの業務
有機	11	キシレン	鉛	09	鉛装置の内部における業務
有機	12	クレゾール	鉛	10	鉛装置の破碎、溶接、溶断又は切断の業務
有機	13	クロロベンゼン	鉛	11	転写紙を製造する工程における鉛等の粉払いの業務
有機	14	クロロホルム	鉛	12	合成樹脂等の製品を製造する工程における業務
有機	15	酢酸イソブチル	鉛	13	自然換気が不十分な場所におけるはんだ付けの業務
有機	16	酢酸イソプロピル	鉛	14	鉛化合物を含有する釉薬の焼成の業務
有機	17	酢酸イソペンチル	鉛	15	鉛化合物を含有する絵具の焼成の業務
有機	18	酢酸エチル	鉛	16	熔融した鉛を用いて行なう業務
有機	19	酢酸ブチル	鉛	17	動力を用いて印刷する工程における業務
有機	20	酢酸プロピル	鉛	18	前各号に掲げる業務を行なう作業場所清掃の業務
有機	21	酢酸ベンチル	電離	10	医療用のX線装置
有機	22	酢酸メチル	電離	11	工業用等のX線装置で撮影用のもの
有機	23	四塩化炭素	電離	12	工業用等のX線装置で透視用のもの
有機	24	シクロヘキサノール	電離	13	工業用等のX線装置で分析用のもの
有機	25	シクロヘキサノン	電離	14	工業用等のX線装置でその他のもの
有機	26	1, 4-ジオキサン	電離	15	荷電粒子を加速する装置
有機	27	1, 2-ジクロロエタン	電離	16	製造工程中のX線管
有機	28	1, 2-ジクロロエチレン	電離	17	製造工程中のケノトロン
有機	29	ジクロロメタン	電離	18	医療用のガンマ線照射装置
有機	30	N, N-ジメチルホルムアミド	電離	19	工業用等のガンマ線照射装置
有機	31	スチレン	電離	20	ガンマ線照射装置以外の放射性物質を装備している機器
有機	32	1・1・2・2-テトラクロロエタン	電離	21	放射性物質
有機	33	テトラクロロエチレン	電離	22	原子炉
有機	34	ラトラヒドロフラン	電離	23	坑内におけるラドンガス
有機	35	1, 1, 1-トリクロロエタン	特化	002	ベンジン及びその塩
有機	36	トリクロロエチレン	特化	003	四-アミノジフェニル及びその塩
有機	37	トルエン	特化	004	四-ニトロジフェニル及びその塩
有機	38	二硫化炭素	特化	005	ビス[クロロメチル]エーテル
有機	39	ノルマルヘキサン	特化	006	ペーターナフチルアミン及びその塩
有機	40	1-ブタノール	特化	007	ベンゼンゴムのり
有機	41	2-ブタノール	特化	008	アモサイト
有機	42	メタノール	特化	009	クロシドライト
有機	43	メチルイソブチルケトン	特化	101	ジクロロベンジン及びその塩
有機	44	メチルエチルケトン	特化	102	アルファーナフチルアミン及びその塩
有機	45	メチルシクロヘキサノール	特化	103	塩素化ビフェニル[PCB]
有機	46	メチルシクロヘキサノン	特化	104	オルト-トリジン及びその塩
有機	47	メチルブチルケトン	特化	105	ジアニジン及びその塩
有機	48	ガソリン	特化	106	ベリリウム及びその化合物

*裏面についても確認願います。

特定有害業務等従事状況届出票（新規）

所属
 個人番号
 氏名 殿 人事労務課厚生掛

本年度の特別定期健康診断等の受検対象者を確認するため、次に掲げる業務に従事する(した)場合には、○を付して所属部局の人事担当掛に提出してください。

特化	107	ベンゾトリクロリド	歯科	7	その他歯又は指示組織に有害な物
特化	201	アクリルアミド	じん肺	010	土石、岩石又は鉱物に掘削する場所における作業
特化	202	アクリロニトリル	じん肺	020	鉱物等を積載した車の荷台をくつがえしたりする作業
特化	203	アルキル水銀化合物	じん肺	030	鉱物等の分類や積み込み等の作業
特化	204	石綿[アモサイト及びクロソドライトを除く]	じん肺	040	坑内において鉱物等を運搬する作業
特化	205	エチレンジイミシ	じん肺	050	鉱物等を充てん、又は岩粉を散布する場所での作業
特化	206	塩化ビニル	じん肺	052	粉じんが付着した機械設備を移設、撤去、点検作業
特化	207	塩素	じん肺	060	岩石又は鉱物を裁断する場所における作業
特化	208	オーラミン	じん肺	070	研磨材を吹き付けたりして研磨する作業
特化	209	オルトフタロジニトリル	じん肺	080	鉱物等を主成分とする原料を動力により破砕する作業
特化	210	カドミウム及びその化合物	じん肺	090	セメント等を袋詰めし、積みおろす場所における作業
特化	211	クロム酸及びその塩	じん肺	100	粉状のアルミニウム又は酸化チタンを袋詰めする作業
特化	212	クロロメチルメチルエーテル	じん肺	110	粉状の鉱石等を材料として製造する工程における作業
特化	213	五酸化バナジウム	じん肺	120	ガラス又ははうろうを製造する工程における作業
特化	214	コaltar	じん肺	130	陶磁器等を製造する際の原材料を混合する工程の作業
特化	215	三酸化砒素	じん肺	140	炭素製品を製造する工程における作業
特化	216	シアン化カリウム	じん肺	150	砂型を用いて鋳物を鋳造する工程における作業
特化	217	シアン化水素	じん肺	160	鉱物等運搬する船舶の船倉内で鉱物等をかき集める作業
特化	218	シアン化ナトリウム	じん肺	170	金属その他無機物を製錬し、溶融する工程における作業
特化	219	3・3ジクロロ-4・4ジアノジフェニルメタン	じん肺	180	粉状の鉱物を燃焼する工程における作業
特化	220	臭化メチル	じん肺	190	耐火物を用いてかま、炉等を築造、破砕等をする作業
特化	221	重クロム酸及びその塩	じん肺	200	タンク内等でのアーク溶接、又はガウジゴクする作業
特化	222	水銀及びその無機化合物	じん肺	210	金属を溶射する場所における作業
特化	223	トリレンジイソシアネート	じん肺	220	染土の付着したい草を製織したりする場所における作業
特化	224	ニッケルカルボニル	じん肺	230	長大ずい道内部のホッパー等の近くでの場所における作業
特化	225	ニトログリコール	じん肺	240	石綿を取り扱う作業
特化	226	パラジメチルアミノアゾベンゼン	その他	01	紫外線・赤外線にさらされる業務
特化	227	パラニトロクロロベンゼン	その他	02	著しい騒音を発生する屋内作業場などにおける騒音作業
特化	228	弗化水素	その他	16	超音波接着機を取扱う業務
特化	229	ペータープロピオラクトン	その他	20	キーバンチャーの業務
特化	230	ベンゼン	その他	23	チェーンソー使用による身体に著しい振動を与える業務
特化	231	ベンタクロルフェノール及びそのナトリウム塩	その他	24	チェーンソー以外の振動工具の取扱いの業務
特化	232	マゼンタ	その他	25	重量物取扱作業、介護作業等腰痛に著しい負担の作業
特化	233	マンガン及びその化合物	その他	29	VDT作業
特化	234	沃化メチル			
特化	235	硫化水素			
特化	236	硫酸ジメチル			
高気圧	10	高圧室内業務			
高気圧	20	潜水業務			
四アルキル	01	四アルキル鉛を製造する業務			
四アルキル	02	四アルキル鉛をガソリンに混入する業務			
四アルキル	03	前2号に掲げる業務に用いる機械の業務			
四アルキル	04	四アルキル鉛により汚染されているタンクの内部の業務			
四アルキル	05	四アルキル鉛等を含有する残さい物を取り扱う業務			
四アルキル	06	四アルキル鉛が入っているドラム缶を取り扱う業務			
四アルキル	07	四アルキル鉛を用いて研究を行う業務			
四アルキル	08	四アルキル鉛の汚染を除去する業務			
歯科	1	塩酸			
歯科	2	硝酸			
歯科	3	硫酸			
歯科	4	亜硫酸			
歯科	5	弗化水素			
歯科	6	黄燐			

*裏面についても確認願います。

健康診断の流れ〔電離〕

- 1 初めて放射線業務を行う予定の者、放射線業務に従事している者は、4月上旬に調査される特定有害業務等従事状況届出票（別紙）の放射線業務欄（電離10～23）に記入しておく。
人事労務課は、特定有害業務等従事状況届出票により放射線業務従事者に対して、「問診票」を各部局の衛生管理担当者を通して配付する。【4月下旬】【10月下旬】
↓
- 2 放射線従事者は、配付された「問診票」に記入の上、各部局の衛生管理担当者へ送付する。各部局の担当者は、「問診票」に放射線取扱主任者による被曝歴評価（押印）後、人事労務課へ報告する。（ただし、初めて放射線業務に従事する新規従事者は放射線取扱主任者の確認を必要としない。）【5月中旬】【11月中旬】
↓
- 3 各部局の衛生管理担当者は、記載事項を確認のうえ「問診票」を人事労務課まで送付する。
【5月末】【11月末】
↓
- 4 人事労務課は「問診票」の判定を保健管理室長に依頼し、その判定結果を各部局の衛生管理担当者に通知し、同「問診票」を、各部局の衛生管理担当者とR I管理室が保管するとともに、衛生管理担当者は「問診票」の（写）を本人に送付する。【6月中旬】【12月中旬】
↓
- 5 健康診断実施通知書を配付する。【6月中旬】【12月中旬】
↓
- 6 検査（血液、皮膚、眼、定期健康診断）の実施【7月】【1月】

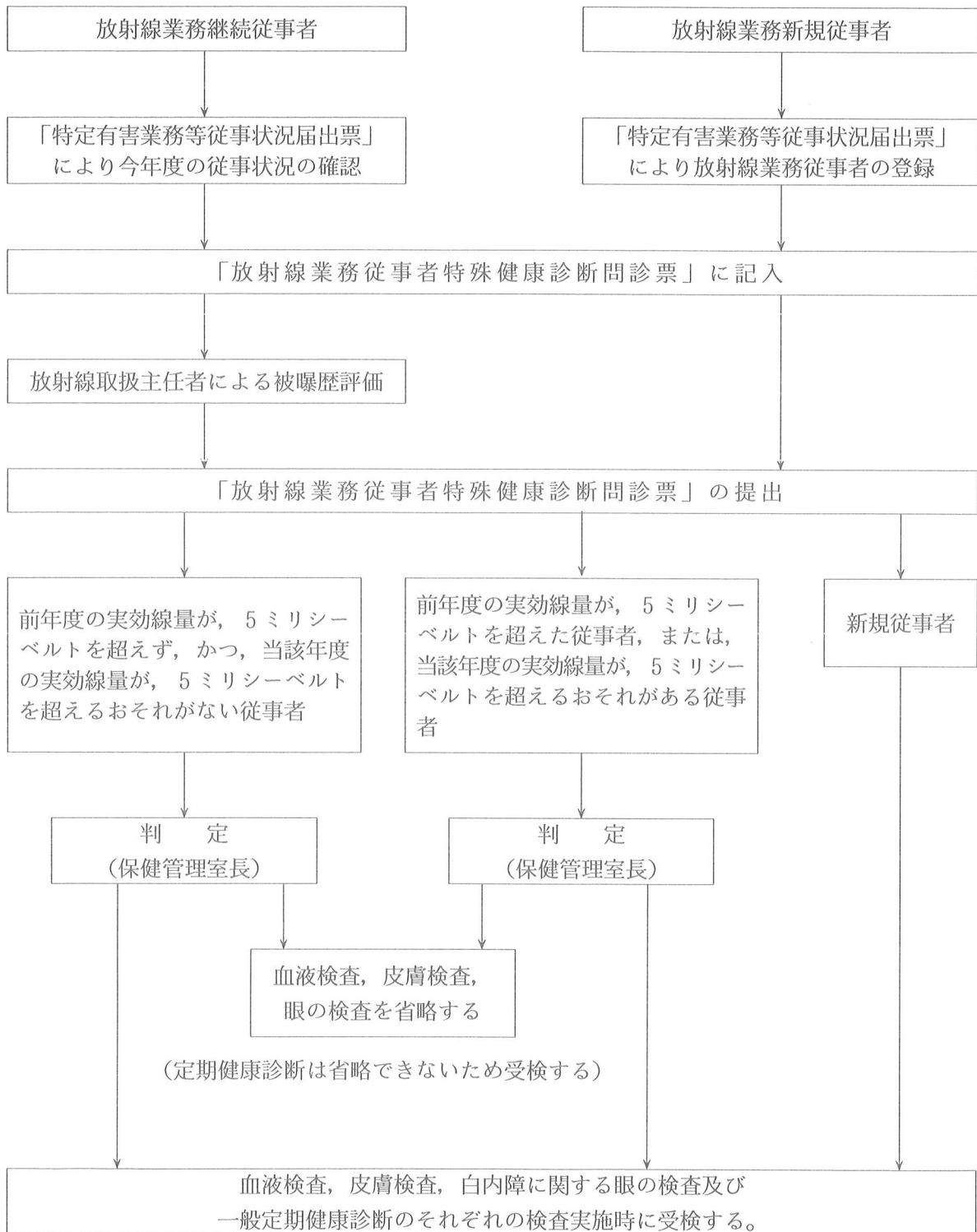
注意

初めて放射線業務を行う者は、上の流れで健康診断を受けるのが本来であるが、下の場合等急ぎ健康診断を受ける必要がある場合は、「放射線を取り扱う学生の特別健康診断」実施時に受検が可能である。

- ・5月、7月のアイソトープ総合センター主催R I講習受講等で、上の流れでは間に合わない場合
- ・年度途中の健康診断の受検が必要となった場合

但し、受検の際は職員専用の問診受検票が必要となる。所属する人事担当部局で指定の問診受検票を受け取り持参すること。

健康診断の手続きの流れ【職員】



放射線業務従事者特殊健康診断問診票

問診票（職員）

フリガナ		記入年月日	平成	年	月	日
氏名		個人番号				
性別		生年月日				
所属						

★従事者記入欄：以下の項目は従事者自身が記入してください。（上記の記入年月日も記入してください。）

対象者区分：該当区分にチェックしてください。	
<input type="checkbox"/> 継続従事者 私は以前から放射線業務に従事しています。 ※以下の項目にも回答してください。 回答後は、指定日までに所属の事務担当者へ提出してください。	<input type="checkbox"/> 新規従事者 私は初めて放射線業務に従事予定で、被ばく歴はありません。 ※以下記入不要 指定日までに所属の事務担当者へ提出し、指定された日時に特殊健康診断を受検してください。 （案内の通知が後日送付されます）
業務内容調査：該当区分にチェック、または必要事項を記入してください。	
① 業務内容変更：あなたの当該年度の業務予定は、前年度と比較して変更がありますか？ <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
② 業務内容 <input type="checkbox"/> 非密封R1の取扱い <input type="checkbox"/> 密封R1の取扱い <input type="checkbox"/> 加速器の取扱い <input type="checkbox"/> エックス線装置の取扱い <input type="checkbox"/> 核燃料物質の取扱い <input type="checkbox"/> 管理区域への立ち入り <input type="checkbox"/> その他（具体的に：_____）	
③ 業務場所 <input type="checkbox"/> 所属部局内 <input type="checkbox"/> 大学内（具体的に：_____） <input type="checkbox"/> 他の事業所（具体的に：_____）	
④ 業務期間 はじめて放射線業務に従事した時 昭和・平成 年 月 ～ 本年度 月	
自覚症状調査：放射線業務に関連して、身体に関して心配ごとがありましたら記入してください。 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（具体的に：_____）	

★主任者記入欄：以下の項目は放射線取扱主任者が記入します。（新規従事者については記入を要しない。）

<被ばく歴調査、被ばく量予測>

過去の被ばく歴： <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり		前年度の実効線量： <input type="checkbox"/> 5mSv以下 <input type="checkbox"/> _____ mSv			
前回の健康診断後に受けた線量	実効線量		等 価 線 量		
			皮 膚	眼の水晶体	女子腹部
	<input type="checkbox"/> 検出限界未満 <input type="checkbox"/> _____ mSv	<input type="checkbox"/> 検出限界未満 <input type="checkbox"/> _____ mSv	<input type="checkbox"/> 検出限界未満 <input type="checkbox"/> _____ mSv	<input type="checkbox"/> 検出限界未満 <input type="checkbox"/> _____ mSv	<input type="checkbox"/> 検出限界未満 <input type="checkbox"/> _____ mSv
あ 被 る ば 入 場 く 合 歴 記 が	被ばく歴の調査及びその評価（作業の場所、内容及び期間、放射線障害の有無、その他放射線による被ばくに関する事項）				
当該年度の被ばく予測：実効線量が5mSvを超えるおそれが <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある					
上記のとおりであることを認めます。 平成 年 月 日 放射線取扱主任者 _____ 印					

★保健管理室長記入欄：以下の項目は保健管理室長が記入します。

<健康診断の結果及びそれに基づいて講じた措置>

問診項目の結果より、今回の特殊健康診断については以下のように判定する。			
・血液検査	<input type="checkbox"/> 必要である	・	<input type="checkbox"/> 必要でない
・皮膚検査	<input type="checkbox"/> 必要である	・	<input type="checkbox"/> 必要でない
・眼の検査	<input type="checkbox"/> 必要である	・	<input type="checkbox"/> 必要でない
※ 検査が必要であると判断された者に関しては、後日検査通知書を送付します。			
平成 年 月 日 保健管理室長 _____ 押 田 芳 治 _____ 印			

放射線業務従事者は安衛則第45条により、特定業務従事者にも該当するため、上記の検査以外にも定期健康診断を受診することが定められています。
 検査時期になりましたら通知しますので、必ず受診してください。

名古屋大学におけるVDT作業形態の区分

作業形態	作業内容
A	この作業形態は、CRTディスプレイ画面からの読み取り及びキー操作のVDT作業を連続的に行い、1週間のVDT作業が15時間以上の職員をいう。
B	この作業形態は、CRTディスプレイ画面からの読み取り及びキー操作のVDT作業を断続的に行い、1週間のVDT作業が15時間以上の職員をいう。 作業形態のAとBとはVDT作業が連続的であるか断続的であるかの違いである。
C	1週間の労働時間の一部をある程度まとまったVDT作業に費やす職員（作業形態A及びBの者を除く。）を指す。 「ある程度まとまったVDT作業」とは、1週間に5時間以上15時間未満行うVDT作業をいう。
D	作業形態がA、B又はCのいずれにも属さない職員で、1週間のVDT作業が5時間未満のものをいう。

- 注) (1) 「連続的」とは、時間的にある程度継続した作業において、手持ちや利用者待ちがない作業をいい、相当な量の原稿の入力作業などがこれに当たる。
- (2) 「断続的」とは、手持ち、利用者待ちなどのためにVDT操作が断続する作業をいい、比較的すいている時間帯の受付業務などがこれに当たる。
- (3) VDT作業を1週間に5時間以上任意に行う教官は、作業形態Cとして取り扱う。

名古屋大学におけるVDT作業従事職員の健康管理の目安

職員健康管理 作業形態	環境管理	作業管理	健康管理等
A	指針の2により環境整備を行う。	指針の3により作業管理を行う。	職員健康教育 配置前健康診査（全員） 定期健康診査（全員） 職場体操等
B	指針に準じて環境整備を行う。	指針の準じて作業管理を行う。	同上
C	必要に応じ、指針に準じて環境整備を行う。	必要に応じ、指針の準じて作業管理を行う。	職員健康教育 必要に応じ、指針に準じて健康診査等を行う。 （希望者）
D	必要に応じ、可能な範囲で指針に準じて環境整備を行う。	必要に応じ、可能な範囲で作業管理を行う。	職員健康教育 必要に応じ、可能な範囲で指針に準じて健康診査等を行う。 （症状のある希望者）

4. 健康相談と応急処置（学生・職員）

健康相談及び応急処置は、身体、精神2部門に分かれて実施しているので、精神部門の活動については、次の精神衛生業務で述べ、ここでは、身体健康相談およびその応急処置について記述する。

学生・職員別に、分野別・処置内容別に、月次推移で表に示した。また、東山キャンパスでは、当センター保健管理室から共通教育保健室に応急処置用の物品を配分し、双方で応急処置が行われているほか、相談・処置の内容によっては、全学教育棟保健室から当センター保健管理室に移して対応している。

健康相談担当医日割表

	月	火	水	木	金
午前	近藤孝晴	押田芳治	山本明子	石黒洋	小池晃彦
午後	山本明子	押田芳治	山本明子	石黒洋	小池晃彦

平成19年度 保健管理室利用件数表（月別，学生）

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
健康相談	内科	24	128	136	89	40	40	152	133	96	110	71	57	1,076
	整形外科	1	7	12	2	3	5	5	3	2	0	2	2	44
	皮膚科	6	26	31	21	11	10	19	32	9	15	8	11	199
	眼科	5	16	16	12	14	11	8	7	8	4	7	3	111
	耳鼻科	2	3	4	4	1	2	3	4	3	1	0	2	29
	婦人科	1	6	4	2	3	1	3	11	1	2	1	1	36
	脳神経外科	0	5	1	0	2	2	0	3	3	2	0	0	18
	歯科・口腔外科	0	1	4	2	0	2	3	5	1	2	0	0	20
	泌尿器科	0	2	6	1	3	0	4	2	0	1	1	0	20
	その他	0	2	1	1	0	3	1	3	1	0	2	1	15
	計	0	4	4	2	3	2	0	0	0	0	2	4	21
与医療機関への紹介	39	200	219	136	80	78	198	203	124	137	94	81	1,589	
健康診断書	89	222	229	162	101	112	217	226	184	160	113	115	1,930	
検査	血液	7	19	22	9	7	12	12	21	6	9	3	5	132
	心電図	1	11	18	28	15	5	13	7	12	28	24	12	174
	X-P	1	1	1	6	4	1	3	9	1	12	17	1	57
	血圧	0	0	1	0	0	3	1	1	1	1	0	2	10
	体重・体脂肪	0	2	2	2	1	0	2	0	1	1	2	0	13
	視力・色覚	1	6	7	8	6	2	10	9	6	2	0	3	60
	聴力（オーディオメーター）	1	3	0	0	0	0	3	0	0	3	2	0	12
	その他	0	4	6	11	1	8	11	5	8	4	1	2	61
	計	0	0	2	0	0	0	3	0	2	0	0	1	8
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
創傷処置	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3	
処置	創傷処置	3	16	20	27	12	15	33	24	20	23	22	11	226
	湿布	46	49	74	96	39	38	56	44	8	18	12	16	496
	洗眼	6	15	11	6	2	5	6	11	5	10	1	5	83
	その他	6	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	9
計	1	2	4	1	2	3	2	2	2	0	0	0	18	
窓口相談	59	67	89	103	43	46	64	58	13	28	13	23	606	
休養室	44	45	34	18	13	19	37	21	21	22	26	21	321	
実験用採血	4	12	6	7	2	3	8	4	3	5	6	0	60	
定期外健康診断	1	2	2	2	0	0	1	1	1	0	0	46	56	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	

平成19年度 保健室利用件数表（月別，学生）

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談	身体的相談（内科）	14	47	30	13	2	5	15	10	3	4	6	1	150
	身体的相談（外科）	17	48	62	33	1	2	9	15	18	4	2	2	213
	身体的相談（その他）	7	32	23	16	4	5	3	2	0	1	4	0	97
	メンタル的相談	3	2	4	4	0	0	3	8	0	1	1	0	26
計	41	129	119	66	7	12	30	35	21	10	13	3	486	
処置	創傷処置	7	16	31	17	0	1	8	4	1	0	1	2	88
	湿布	7	11	14	8	1	1	1	2	0	1	1	0	47
	耳介穿刺	2	23	18	5	0	0	0	8	16	3	0	0	75
	薬処方	4	9	4	4	1	1	2	1	0	1	2	0	29
	休養	3	10	8	10	3	1	7	4	1	0	2	0	49
その他	2	9	10	6	1	2	1	2	2	1	1	0	37	
計	25	78	85	50	6	6	19	21	20	6	7	2	325	
検査	視力・色覚	0	9	50	3	0	1	1	0	2	0	0	0	66
	尿	3	124	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	130
	血圧	1	21	4	6	0	0	0	5	0	0	0	0	37
紹介	体脂肪	9	25	74	16	0	7	7	5	6	2	0	0	151
	保健管理室	1	15	17	5	2	2	5	4	0	2	0	1	54
	学生相談室・メンタル	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	学外医療機関	11	33	19	10	1	5	3	4	0	2	5	2	95
計	12	50	36	15	3	7	8	8	0	4	5	3	151	
場所	正課中の傷病	0	1	4	6	0	0	1	1	0	0	0	0	13
	課外活動中の傷病	5	24	26	8	1	0	0	6	16	3	0	1	90

平成19年度 保健管理室利用件数表（月別，職員）

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
健 康 相 談	内 科	8	21	8	12	9	10	18	22	22	17	13	17	177
	外 科	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	整 形 外 科	0	3	2	2	5	3	1	3	2	2	3	2	28
	皮 膚 科	1	2	3	2	3	1	2	0	2	1	0	1	18
	眼 科	0	0	1	0	2	1	1	1	1	0	1	0	7
	耳 鼻 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	婦 人 科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	脳 神 経 外 科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	歯 科 ・ 口 腔 外 科	0	0	0	0	1	0	2	1	1	0	1	0	6
	泌 尿 器 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	6
計	9	30	16	17	22	16	24	28	27	21	17	21	248	
与 薬	33	27	31	43	21	27	43	33	35	25	25	35	378	
医 療 機 関 へ の 紹 介	0	4	2	6	2	7	1	2	3	1	2	3	33	
健 康 診 断 書	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	2	2	10	
採 用 時 健 康 診 断 書	1	13	8	2	8	2	10	8	3	16	6	24	101	
検 査	血 液	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3
	尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	心 電 図	0	1	1	1	0	0	0	0	1	2	1	0	7
	X - P	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0	2	0	7
	血 圧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	体 重 ・ 体 脂 肪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	視 力 ・ 色 覚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	聴 力 (オージオメーター)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	2	2	1	3	0	0	1	2	2	4	0	18	
処 置	創 傷 処 置	4	0	4	1	3	0	0	1	0	0	0	1	14
	湿 布	2	2	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	8
	洗 眼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	2	4	1	3	0	3	2	2	1	0	1	25	
窓 口 相 談	1	2	0	1	2	3	6	2	4	1	3	5	30	
休 養 室	0	1	3	2	0	1	0	0	0	5	4	5	21	
安 全 衛 生 関 連 の 指 導	1	0	0	0	2	3	0	0	0	2	4	2	14	

平成19年度 保健室利用件数表（月別，職員）

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相 談	身体的相談（内科）	10	8	11	6	2	3	6	4	6	9	6	0	71
	身体的相談（外科）	0	2	1	3	0	1	1	2	0	2	1	1	14
	身体的相談（その他）	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	2	0	7
	メンタル的相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	10	11	12	10	3	5	7	6	6	12	9	1	92	
処 置	創 傷 処 置	0	1	0	2	1	2	1	2	0	1	1	1	12
	湿 布	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	薬 処 方	9	9	7	6	2	3	6	3	6	5	4	0	60
	休 養 室	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	6
	そ の 他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
計	10	12	9	10	3	5	7	6	6	7	7	1	83	
検 査	視 力 ・ 色 覚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	血 圧	11	10	11	13	4	5	11	8	7	7	0	0	87
	体 脂 肪	4	3	3	3	0	0	3	2	2	2	0	0	22
紹 介	保 健 管 理 室	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	メ ン タ ル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学 外 医 療 機 関	0	0	2	1	1	1	0	0	0	2	2	1	10
	計	0	0	3	1	1	1	0	0	0	3	2	1	12

平成19年度 保健管理室分室（鶴舞地区）利用件数表（月別，学生）

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
健 康 相 談	内 科			2	1									3
	外 科													0
	整 形 外 科	1						1						2
	皮 膚 科							1						1
	眼 科													0
	耳 鼻 科													0
	婦 人 科													0
	脳 神 経 外 科													0
	歯 科 ・ 口 腔 外 科													0
	泌 尿 器 科													0
精 神 科													0	
そ の 他													0	
計	1	0	2	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	6
与 薬		2	1		1		1							5
医 療 機 関 へ の 紹 介	1	3					1	5						10
健 康 診 断 書				1						1				2
検 査	血 液			1										1
	血 圧			1										1
	体 重 ・ 体 脂 肪													0
	そ の 他													0
計	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
処 置	創 傷 処 置		1	1					1		1			4
	湿 布	1	1											2
	そ の 他		2	1				1	1		1			6
計	1	4	2	0	0	0	1	2	0	2	0	0	12	
窓 口 相 談 室														
休 養 室														
保 健 室 利 用		105	104	108			41	42			147	148	16	711

平成19年度 保健管理室分室（鶴舞地区）利用件数表（月別，職員）

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
健 康 相 談	内 科	1												1
	外 科													0
	整 形 外 科													0
	皮 膚 科													0
	眼 科													0
	耳 鼻 科													0
	婦 人 科													0
	脳 神 経 外 科													0
	歯 科 ・ 口 腔 外 科													0
	泌 尿 器 科													0
精 神 科													0	
そ の 他													0	
計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
与 薬	1			1										2
医 療 機 関 へ の 紹 介			2					2		2				6
健 康 診 断 書														0
検 査	血 液													0
	血 圧		1											1
	体 重 ・ 体 脂 肪													0
	そ の 他													0
計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
処 置	創 傷 処 置		1	1				1						3
	湿 布				1					1				2
	そ の 他													0
計	0	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	5
窓 口 相 談 室		2	2	2				3		4				13
休 養 室														0
保 健 室 利 用														0

5. 精神健康（メンタルヘルス）相談業務

学生との面接は、キャンパスの精神健康相談業務としても、またキャンパスにおける精神医学あるいは精神健康科学の研究にとっても重要である。

来談者数、延面接回数は表の通りである。実際の需要は少なく見積もってもこの数の2倍はある。大学院生の相談が最近増加傾向にあることも注目すべきである。都合がつかず他の機関を紹介した例も多数ある。家族や指導教官による学生に関する相談も多くなってきているが、十分な対応は難しい。本年度は年度当初から精神医2人となり以前より面接回数は増加している。それでも予約の順番が待てないこともあり十分に対応できていない。内科で心身症的に対応されている留学生も多いと考えられる。

自覚症状調査において面接を希望した学生を呼出し通知を出したが、待ち切れずに他の医療機関や相談機関を訪れている者が相当数あると推定される。

平成19年度新患内訳

	統合失調症	妄想性障害	急性精神病	双極性感情障害	抑うつ状態	その他の気分障害	対人恐怖症	その他の恐怖症	不安神経症	強迫神経症	適応障害	解離障害	心気症	離人神経症	摂食障害	睡眠障害	人格障害	アパシー症候群	その他	計	
1年	1						1				1						2		4	9	
2年	1				2			2	1		2						2	1	5	16	
3年	1				5		1				3				2		2	1	4	19	
4年	2				6		2	1			2		1			2	1	1	3	21	
大学院		2	1	1	19			5	4	2	9		5						3	11	61
その他	1			2	7		1		5		11		1		1					10	40
総計	6	2	1	3 (1)	39 (3)	0	5 (4)	8	10 (5)	2	28 (18)	0	7 (6)	0	3 (2)	2	7	6	37 (27)	166 (129)	

※「その他」は職員，学年が不明な者を含む。

※「計」の中で職員を含む項目においては（ ）内に学生のみ的人数を示してある。

平成19年度受診者総数（学部別）

文	教育	法	経済	情文	理	医	工	農	独立	その他	計
26	10	22	13	5	48	19	53	14	28	62	299

※「その他」は職員を含む。

平成19年度月別受診者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
110	117	118	110	90	102	116	120	116	119	115	104	1,337

平成19年度月別面接回数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
184	221	214	204	140	169	223	247	187	207	194	189	2,379

6. 運動実施のためのメディカルチェック

激しい運動を行う時に、身体的要因から生ずる事故をできるだけ少なくする目的でメディカルチェックを行っている。主に、長距離走を対象としているが、各クラブで試合出場に必要な場合などにも応じている。メディカルチェックの内容としては、問診、安静時の血圧、脈拍の測定、および負荷心電図検査である。また、必要に応じ、尿の検査や血液検査も行っている。このほかに、胸部X線検査なども必要と考えられるが、全ての検査を施行できるほどの人的余裕がないので、定期健康診断の成績を判定の参考としている。従って、定期健康診断未受診者についてはメディカルチェックは行っていない。

7. B型肝炎ワクチン接種

医学部学生（4年生）の希望者を対象として、B型肝炎のワクチン接種を行っている。3回の接種が必要で、ワクチンの費用は医学部が負担し、血液検査は個人負担である。接種前後にHBs抗原、抗体、肝機能検査を、接種後にHBs抗体および肝機能検査を行っている。

8. 平成19年度学校医名簿

	氏名	本務先	職名	担当科
常勤	近藤孝晴	総合保健体育科学センター	教授	内科
	押田芳治	総合保健体育科学センター	教授	内科
	小川豊昭	総合保健体育科学センター	教授	精神科
	石黒洋	総合保健体育科学センター	准教授	内科
	小池晃彦	総合保健体育科学センター	准教授	内科
	津田均	総合保健体育科学センター	准教授	精神科
	山本明子	総合保健体育科学センター	助教	内科
	古橋忠晃	総合保健体育科学センター	助教	精神科
非常勤	宮尾克	情報連携基盤センター	教授	VDT検査
	西岡和郎	医学系研究科	准教授	精神科
	長谷川幸治	医学系研究科	准教授	整形外科
	福井敬文	医学系研究科	助教	歯科
	金住直人	附属病院	助教	外科
	安江敬	附属病院	助教	皮膚科
	曾根三千彦	附属病院	講師	耳鼻科
	長谷川好規	附属病院	講師	内科
	近藤峰生	附属病院	講師	眼科
	佐藤寿一	附属病院	講師	内科
	鈴木國文	医学部	教授	精神科
	後藤節子	医学部	教授	産婦人科
	本城秀次	教育発達科学研究科	教授	精神科

9. 名古屋大学診療所規程

制 定 昭和37年3月1日

最終改正 平成16年4月1日

第1条 名古屋大学診療所（以下「診療所」という。）は、本学の学生及び職員の診療を行うことを目的とする。

第2条 診療所は、名古屋大学総合保健体育科学センター保健管理室内に置き、保健管理室長（以下「所長」という。）が管理する。

第3条 診療所は、診療業務を行う。

第4条 診療所を運営するため、診療所運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

第5条 運営委員会は、次に掲げる委員で組織する。

- 一 所長
- 二 総合保健体育科学センター体育科学部の主任
- 三 健康管理医
- 四 診療所担当学校医
- 五 学務部長
- 六 総合保健体育科学センター運営委員会委員3名

2 前項第6号の委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

第6条 運営委員会に議長を置き、所長をもって充てる。

第7条 運営委員会は、必要の都度議長が招集する。

第8条 診療所の運営については、必要に応じて事務連絡会議を置くことができる。

第9条 診療所の運営に関する細則は、運営委員会が定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から実施する。

保健体育の事業

1. 「健康への道」の発行

教職員・学生の健康やスポーツ活動に対する理解と関心を高め、運動施設の利用の促進や便宜をはかる目的で年間3回発行されている。平成19年度は、95号、96号、97号を発行した。主な記事の表題、担当執筆者は以下の通りである。

	発行日	主 な 記 事	執 筆 者
95	2007. 9. 28	文武両道 「わかる」ということ 楯円球のロマネスク組織形成二話 名大病院救急外来受診記 目指せ、健康エリート肥満は喫煙と同罪!?	西 田 保 山 本 裕 二 佐々木 康 近 藤 孝 晴 小 池 晃 彦
96	2007. 12. 27	感染症への意識を高めよう アメリカでの海外研修 スポーツと身体の大ささ 雰囲気を読めない脳の病—アスペルガー障害について— 睡眠と健康	押 田 芳 治 島 岡 み どり 池 上 康 男 小 川 豊 昭 石 黒 洋
97	2008. 3. 24	過程の共有とスポーツのヒューマニズム 名古屋シティーマラソンに参加して 大学で「スポーツ学」が急増する理由 新型インフルエンザとは?	出 原 泰 明 秋 間 広 高 橋 義 雄 押 田 芳 治

2. 総合保健体育科学センター主管の行事

平成19年度 スポーツ公開講座および施設開放実施状況

学内向け

名 称	対 象	募集 人数	受講 人数	担当責任者	回数	実 施 時 期	場 所
室内プール夜間開放	学生 院生 教職員	—	—	池 上 康 男	66回	H19. 4. 2～ 7.23 H19.10. 1～H20. 2. 1 H20. 3. 3～ 3.31 (月・木曜日の16:30 ～19:00。ただし、祝 日、冬期休業期間を除 く)	屋内プール
夏期休業中室内プー ル開放	学生 院生 教職員	—	—	池 上 康 男	27回	H19. 8. 1～ 8.31	屋内プール
テニスコート夜間開 放	学生 院生 教職員	—	—	高 橋 義 雄 片 山 敬 章	87回	H19.10. 1～12.20 H20. 1.17～ 1.31 (月・木曜日祝日を除 夏・冬期休業・試験期 間中を除く)	テニスコート

学外（市民）向け

名 称	対 象	募集 人数	受講 人数	担当責任者	回数	実 施 時 期	場 所
健康開発のための運 動基礎理論	健康増進 指導従事者	25人	40人	島 岡 清	2日間 (計6コマ)	H19. 7.28～7.19	医学部 保健学科

「健康・スポーツ科学」の授業

「健康・スポーツ科学」の授業について

1. ねらいと授業科目

名古屋大学はその学術憲章のなかで、国内外に関わらず人的交流を支える文化理解，人間性の尊重を共有する構成員の育成をねらいとすることを謳っている。卒業後の社会で自ら行動力を以ってリーダーシップを発揮することが求められる名古屋大学の学生にとって，その基盤となる体力と良好な健康状態を生涯にわたり維持することは極めて重要である。

このような状況を鑑み，旧来の基本主題科目「生涯健康とスポーツ」は，平成15年度より全学基礎科目「健康・スポーツ科学」へと名称及び内容が改められ，以下の知識・能力を身につけた人材の育成をねらいとしている。

- 1) 健康・体力の維持増進に必要な正しい知識
- 2) 運動・スポーツの健康・体力の維持増進に対する有効性を理解と，その生涯にわたる実践能力
- 3) 運動・スポーツの実践によって生活を充実させる方法の体得
- 4) 運動・スポーツの実践を通じて，人間関係を構築する基礎となるコミュニケーション・スキルの体得
- 5) 社会環境の変化やストレスに対して柔軟かつ主体的に行動できる能力

2. 授業形態

「健康・スポーツ科学」は主に健康や運動に関する知識の修得を目的とする「講義」と実践に関する知識や行動能力を身につけるための「実習」で構成される。「講義」と「実習」は互いに独立したものではなく，上記の教育目標を達成するために互いに密接な関係を持つ授業内容となっており，理論と実践の有機的な結合が図られている。

[授業内容]

- 1) 健康と運動・スポーツに関する最先端の科学的知識の修得（講義）
- 2) 生涯にわたる運動習慣を身につけさせるための基礎的能力である体力，運動能力，スキルなどの育成（実習）
- 3) スポーツにおいて自らが主体的，積極的に身体運動に取り組むことによって，科学的知識と論理的思考に基づいた知的な身体運動能力や実践的問題解決行動能力の育成（講義・実習）
- 4) スポーツを通して，チーム・組織における人間関係づくりの基礎を修得（講義・実習）

平成15年度よりこれまでの基本主題科目「生涯健康とスポーツ」における「講義及び実習」と「実技」が全学基礎科目「健康・スポーツ科学」における「講義」と「実習」に改められ，講義は2単位，実習は1単位となった。取得すべき単位については，法学部と工学部を除く全ての学部で講義2単位，実習2単位の計4単位が必修である。法学部は選択制で卒業単位となり，工学部は「講義」または「実習」のいずれかで計2単位が必修である。

3. 「講義」について

1) 時間割編成

平成16年度より各学部ともⅠ期に開講している。学生の授業科目の選択は学生が事前登録を行い、それをもとに電算機上で振り分けた。

2) 開講コマ数

平成19年度の「健康・スポーツ科学」の講義は、19名の専任教員が担当し、1年間に22コマ開講した。

3) ティーチング・アシスタントについて

平成19年度は、ティーチング・アシスタントをつけなかった。

4. 「実習」について

1) 時間割編成

平成19年度は、表1と表2のように各学部ともⅠ期とⅡ期に実習が開講された。開講オビ数は前期9、後期9となり、コマ数は前期59、後期61（集中開講のスキー4コマ、トレッキング1コマを含む）となった。工学部は選択必修制（「講義」または「実習」のいずれかで計2単位が必修）であったが、ガイダンスの際に調べた受講率（受講者数と学生数の割合）によると、前期は88%、後期は65%であり少なくとも前期の実習では約9割の学生が実習を受講していたことが確認できた。

7月後半まで実習が行われ、特に屋外種目においては過酷な暑熱下での実習が行われた。熱中症対策用の測定器や実習を担当する教員の配慮等により、重篤な事態は発生しなかった。また、実習中の怪我についても、特に重傷などの報告はなかった。

前期の開講時間帯は2～4限、後期は1～4限であるが、施設のほとんどが課外活動でも積極的に利用された。

2) 開講コマ数

平成19年度は専任教員（13名）、非常勤講師（8名）が担当し、1年間に120コマを開講した。

3) 開講科目

健康・スポーツ科学実習は、テニス、サッカー、フットサル、ソフトボール、卓球、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、ゴルフ、アーチェリー、ラケットスポーツ、スキー、トレッキング、フィットネス、トレーニング、スイミング、太極拳、エアロビクス、アルティメット、ベースボールの20種目を開講した。以上に加えてアダプテッド・スポーツが開講され、合計21種目が開講された。

各種目の授業内容はシラバスに詳しく述べられているが、ここでは本学の特色である集中講義による学外の授業科目（スキー・トレッキング）、さらに健康運動のための授業科目（フィットネス・トレーニング等）、アダプテッド・スポーツの授業内容についてふれる。

・ 学外で実施する授業科目

スキーやトレッキングなどの野外スポーツは、生涯にわたるスポーツ活動をする上で、近年大きな比重を占めるようになってきている。本学では、スキーの体験や基礎技術の修得、さらに里山を歩くトレッキングを通じて生涯スポーツへの理解と実践力を高め、自らの健康・体力づくりへの動機を促している。スキーとトレッキングともに受講生には人気があった。

・ 健康運動のための授業科目

実習は、受講者の体力レベルに応じた、効果的なプログラムを実施、さらに受講者自らがプログラムを組み立てる能力を養成することが目的である。なお「トレーニング」は、トレーニング・マシーンを

利用した内容が中心となり、「フィットネス」はより総合的なトレーニングを学習する。これら2種目に加え、「スイミング」、「太極拳」、「エアロビクス」が開講されている。「スイミング」は、学内温水プールを利用するため年間を通じて開講されている。

・ アダプテッド・スポーツ

本学では毎年全学生の1%程度の学生が外傷や疾病により通常の実習の履修が困難となっている。そこでこれらの学生を対象に「アダプテッド・スポーツ」を開講し、保健科学部教員（医師）と体育科学部教員が協力し、面接による医学的指導をもとに個々の症状に応じたトレーニングや軽いスポーツを設定し、積極的で充実した学生生活を送るためのバックアップを行っている。

4) ティーチング・アシスタントの活用

平成19年度は、前期4コマ、後期2コマに1名ずつ、さらにスキーに5名、トレッキングに1名のティーチング・アシスタントを採用した。これらのティーチング・アシスタントは、授業の準備にとどまらず、実際の指導において有意な教育効果をもたらした。授業内容によっては、今後さらに多くのティーチング・アシスタントを活用する方向で検討すべきである。

5. 「実習」の非常勤講師（五十音順）

- 柴田優子（愛知大学非常勤講師）
- 下村典子（中京短期大学）
- 張成忠（有限会社 桜華）
- 湯海鵬（愛知県立大学）
- 富樫健二（三重大学）
- 野中壽子（名古屋市立大学）
- 平野朋枝（岐阜聖徳学園大学）
- 吉澤洋二（名古屋経済大学）

平成19年度 健康・スポーツ科学実習時間割 (前期)

曜日	月	火	水	木	金
ガイダンス	高橋	片山	竹之内	佐々木	秋間
雨当番	高橋/布目	片山	片山	秋間	山本/西田
1限					講義8 理医保愛情(自) 815 (101.9)
8:45 10:15					神田 芳治 保 津田 均 石田 浩司 小池 晃彦 竹之内隆志 石黒 洋 秋間 広
2限	実習7 医農 281 (46.8)	実習6 経 219 (43.8)	実習8 文教情 285 (40.7)	実習6 保205 (41.0)	
10:30 12:00	出原 泰明 第一 アーチェリー 山本 裕二 テニス 石田 浩司 新アリ バドミントン 布目 寛幸 陸上 サッカー 高橋 義雄 野球場 ソフトボール ・下村 典子 新トレ フィットネス 西田 保/押田芳治 アダブテッド	蛭田 秀一 第二 卓球 山本 裕二 テニス 佐々木 康 第一 バスケット 片山 敬章 陸上 サッカー ・湯 海鵬 新アリ バドミントン 島岡 清/石黒 洋 アダブテッド	出原 泰明 第一 アーチェリー 石田 浩司 新アリ バドミントン 佐々木 康 新トレ フィットネス 竹之内隆志 テニス 布目 寛幸 プール スイミング 高橋 義雄 野球場 ゴルフ 片山 敬章 陸上 アルティメット 池上康男/押田芳治 アダブテッド	竹之内隆志 テニス 秋間 広 陸上 フィットネス ・吉澤 洋二 第一 バスケット ・野中 壽子 第五 フィットネス ・富樫 健二 新アリ バドミントン 池上康男/小池晃彦 アダブテッド	
3限	講義8 工学部 789 (98.6)	講義6 文教経法情(社) 626 (104.3)	実習8 工I-IV 382 (47.4)	実習8 理 292 (41.7)	実習5 法 159 (39.8)
13:00 14:30	近藤 孝晴 島岡 清 小池 晃彦 池上 康男 石黒 洋 山本 裕二 布目 寛幸 高橋 義雄	押田 芳治 出原 泰明 小川 豊昭 蛭田 秀一 佐々木 康 片山 敬章	池上 康男 プール 出原 泰明 第一 アーチェリー 蛭田 秀一 第二 卓球 佐々木 康 新トレ フィットネス 竹之内隆志 新アリ バレーボール 高橋 義雄 野球場 ゴルフ 片山 敬章 陸上 アルティメット 石田浩司/小池晃彦 アダブテッド	島岡 清 野球場 西田 保 新アリ 蛭田 秀一 第二 佐々木 康 第一 秋間 広 新トレ ・柴田 優子 テニス ・平野 明枝 第五 出原泰明/石黒 洋 アダブテッド	西田 保 野球場 ・吉澤 洋二 第一 ・野中 壽子 第五 ・富樫 健二 新アリ 秋間 広/押田芳治
4限	実習6 工III-V 265 (53.0)		実習5 工II 192 (48.0)		
14:45 16:15	池上 康男 プール 出原 泰明 第一 石田 浩司 新アリ 布目 寛幸 陸上 高橋 義雄 野球場 蛭田秀一/押田芳治		西田 保 新アリ 秋間 広 陸上 ・柴田 優子 テニス ・平野 明枝 第五 山本裕二/押田芳治	新アリ 陸上 テニス 第五 アダブテッド	バドミントン サッカー テニス エアロビクス アダブテッド

平成19年度 健康・スポーツ科学実習時間割 (後期)

曜日	月	火	水	木	集中
ガイダンス	布目	石田	山本/蛭田	山本	島岡 清 スキー
雨当番	布目/高橋	高橋/布目	竹之内	山本	池上 康男 スキー
1限	実習6 経 219 (43.8)	実習6 経 219 (43.8)			布目 寛幸 スキー
8:45	石田 浩司 新トレ	新トレ			片山 敬章 スキー
10:15	佐々木 康 第一	第一			秋間 広 スキー
	竹之内隆志 新アリ	新アリ			
	高橋 義雄 野球場	野球場			
	片山 敬章 陸上	陸上			
	布目寛幸/石黒 洋	アダブテッド			
2限	実習7 医農 281 (46.8)	実習7 文教情 285 (40.7)			
	山本 裕二 第一/第二	池上 康男 野球場	ゴルフ		
10:30	石田 浩司 野球場	西田 保 新アリ	バドミントン		
	布目 寛幸 陸上	出原 泰明 第一	アーチェリー		
	・張 成忠 第四	山本 裕二 第二	卓球		
12:00	・柴田 優子 テニス	竹之内隆志 テニス	テニス		
	・富樫 健二 新アリ	秋間 広 陸上	フットサル		
	高橋義雄/小池晃彦	島岡 清/押田芳治	アダブテッド		
3限	実習8 理 292 (41.7)	実習6 工Ⅲ-V 265 (53.0)		実習6 保 205 (41.0)	島岡清 トレッキング
	山本 裕二 第一/第二	西田 保 野球場	ゴルフ	島岡 清 野球場	
13:00	布目 寛幸 アール	出原 泰明 第一	アーチェリー	池上 康男 アール	ゴルフ
	高橋 義雄 野球場	蛭田 秀一 第二	卓球	出原 泰明 新アリ	スイミング
	片山 敬章 陸上	竹之内隆志 新アリ	バレーボール	山本 裕二 テニス	バドミントン
14:30	・張 成忠 第四	・湯 海鷗 テニス	テニス	片山 敬章 第一	テニス
	・柴田 優子 テニス	山本裕二/小池晃彦	アダブテッド	竹之内隆志/石黒 洋	フットサル
	・富樫 健二 新アリ				アダブテッド
	佐々木 康/小川豊昭				
4限	実習7 工I-IV 332 (47.4)	実習5 工II 192 (48.0)			
	蛭田 秀一 第二	西田 保 新アリ	卓球		
14:45	石田 浩司 新アリ	蛭田 秀一 第二	バドミントン		
	佐々木 康 第一	佐々木 康 第一	バスケット		
	秋間 広 陸上	布目 寛幸 陸上	サッカー		
16:15	高橋 義雄 野球場	秋間 広/小池晃彦	ソフト		
	・柴田 優子 テニス		テニス		
	布目寛幸/押田芳治		アダブテッド		

そ の 他

庶務関係事項

1) 人事異動 (平成19. 4. 1～20. 3. 31)

異動年月日	異動前の官職	氏名	異動内容	備考
H19. 4. 1		山岸裕孝	配置換 (学生部学生総合支援課掛長から)	事務掛
H19. 4. 1		水草晃一	採用 (臨時用務員)	事務掛
H19. 4. 1		松尾聡子	採用 (看護師: パート)	保健管理室
H19. 4. 1		西口啓子	採用 (看護師: パート)	保健管理室
H19. 9. 1	事務掛長	山岸裕孝	配置換 (研究協力・国際部研究支援課掛長へ)	事務掛
H19. 9. 1		神戸幸夫	配置換 (理学部・理学研究科・多元数理科学研究科大学院掛長から)	事務掛
H20. 3. 31	事務掛長	神戸幸夫	退職	事務掛
H20. 3. 31	教授	出原泰明	定年退職	体育科学部
H20. 3. 31	講師	高橋義雄	退職	体育科学部

平成19年度各種委員会委員名簿（学内）

委員会名等	任期	保健科学部	体育科学部	備考
総合保健体育科学センター運営委員会	19. 4. 1～21. 3. 31	近藤・押田	蛭田・石田	
図書館商議員会	19. 4. 1～21. 3. 31		西田	
原子力委員会	19. 4. 1～21. 3. 31	押田		
安全保障委員会	19. 4. 1～21. 3. 31	石黒		
動物実験委員会	19. 4. 1～21. 3. 31	小池		
全学計画・評価担当者会議	19. 4. 1～21. 3. 31	押田		
研究助成委員会	18. 4. 1～20. 3. 31		蛭田	教授
国際交流委員会	18. 4. 1～20. 3. 31	石黒		
国際関係施設委員会	18. 4. 1～20. 3. 31	小池		
全学教育企画委員会	18. 4. 1～20. 3. 31		山本	教授
学務情報システム委員会	18. 4. 1～20. 3. 31		秋間	教・助教
セクシュアル・ハラスメント防止対策委員会	18. 4. 1 ～20. 3. 31	セクシュアル・ハラスメント相談所長(近藤) 保健管理室長(近藤)	池上	
情報公開・個人情報保護審査委員会	18. 4. 1～20. 3. 31	小川		
男女共同参画推進専門委員会	19. 4. 1～20. 3. 31		出原	
高等研究院会議	18. 4. 1～20. 3. 31	小川		
利益相反マネジメント専門委員会	18. 4. 1～20. 3. 31	押田		
情報メディア教育センター運営委員会	18. 4. 1～20. 3. 31		蛭田	教授
蔵書整備アドバイザー	19. 4. 1～22. 3. 31	石黒	竹之内・片山	3年
発達心理精神科学教育研究センター運営委員会	19. 4. 1～21. 3. 31	小川		
全学教育棟等の改修工事に関する検討委員会	18. 4. 1～20. 3. 31		池上	2年
バイオセーフティ委員会	16. 4. 1～	近藤		
大学文書資料室運営委員会	19. 4. 1～21. 3. 31	小川		講師以上
環境安全衛生管理室運営委員会	18. 4. 1～20. 3. 31	石黒		
自然災害対策検討WG	18. 4. 1～20. 3. 31		西田	
教養教育院統括会議	17. 4. 1～20. 3. 31		山本	
教養教育院教務委員会	17. 4. 1～20. 3. 31		山本	
教養教育院健康・スポーツ科学小部会	17. 4. 1～20. 3. 31	石黒	山本・蛭田 秋間・片山	
教養教育院評価専門委員会	17. 4. 1～20. 3. 31		山本	
教養教育院統括部基盤科学部門及び基盤科学部会	17. 4. 1～20. 3. 31		山本	
セクシュアル・ハラスメントの苦情に関する「部局受付窓口担当員」	19. 4. 1～21. 3. 31	市橋淳		
SCS事業実施要項による共通教育棟子局運営委員会	18. 4. 1～20. 3. 31	小池		
社会連携推進担当	18. 4. 1～20. 3. 31		竹之内	
学年歴検討WG委員会	18. 4. 1～20. 3. 31		山本	
交通安全委員会代議員	18. 4. 1～20. 3. 31		石田	
個人情報保護管理者	18. 4. 1～20. 3. 31	押田		

職指定委員会（センター長）

1. 教育研究評議会
2. 部局長会
3. 男女共同参画推進委員会
4. 入学試験委員会
5. 組換えDNA実験安全委員会
6. 病院・医系委員会・第6委員会
7. 医系小委員会
8. 研究・国際交流委員会 第7委員会

指定以外（センター長）

1. ホームカミングデイ部局代表者 島岡 清

職指定委員会（保健管理室長）

1. 施設・安全委員会（第5委員会）
2. 環境安全防災委員会
3. 環境安全衛生推進本部会議・環境安全衛生推進本部打合せ会
4. 安全衛生委員会

セクシュアル・ハラスメント相談所運営委員会

1. セクシュアル・ハラスメント相談所長（近藤）
2. 保健管理室長（押田）

学生相談総合センター企画運営委員会（小川） H19. 4. 1～H21. 3. 31

保健科学部

排水管理責任者	H19. 4. 1～H20. 3.31	押田
メンタルヘルス研究協議会	H19. 4. 1～H20. 3.31	津田
親と子供の診療部運営協議会	H16. 4. 1～	小川
医学系研究科国際交流委員会	H16. 4. 1～	小川

平成19年度各種委員会委員名簿（センター内）

委員会名等	保健科学部	体育科学部	備考
科学部主任	押田	石田	
教務委員会	近藤, 石黒	◎山本, 蛭田, 秋間, 片山	
予算委員会	近藤, 小川	◎池上, 石田	
編集委員会	◎小川, 石黒	西田, 布目	
広報委員会	○近藤, 小池	池上, 佐々木	
図書委員会	押田, 石黒	◎西田, 佐々木	
特昇委員会	◎近藤, 小川	出原, 佐々木	
評価・企画委員会	近藤, 小川, 石黒	◎蛭田, 石田, 竹之内, 高橋	
NICE部局運営委員会	小池	◎山本, 池上	
ヒトを対象とする研究審査委員会	◎石黒, 小池	西田, 秋間, 布目	
交通対策委員会	山本	◎石田	
保健管理室スタッフ委員会	◎押田, 山本, 古橋		
運動施設委員会		◎池上, 石田, 布目, 高橋	
環境管理担当教員	押田		H19年7月選任
男女共同参画推進検討委員会	山本（宮田）	◎出原, 竹之内	
安全衛生委員会		◎出原	掛長・伊藤

※体育科学部は運動場施設委員会委員が兼任する。

保健管理室長	押田（H19. 4. 1～H21. 3. 31）	
--------	--------------------------	--

国立大学保健管理施設等協議会	押田		
大学体育連合		高橋	
教育発達科学研究科担当委員 （☆入試委員）		◎西田, 蛭田 ☆佐々木, ☆竹之内	

◎は、委員長を示す。安全衛生委員は、体育科学部は施設委員を選出

保健科学部

メンタルヘルス研究協議会	H19. 4. 1～H20. 3. 31	津田
親と子供の診療部運営協議会	H19. 4. 1～H21. 3. 31	小川
医学系研究科国際交流委員会	H16. 4. 1～	小川

2) 外国出張及び海外研修旅行(平成19. 4. 1~20. 3. 31)

氏名	目的	渡航先	期間	備考
島岡みどり	マサチューセッツ大学での在外研究(特別研究期間)のため	アメリカ合衆国	H19. 4. 1 ~20. 3. 14	出張
秋間広	アメリカスポーツ医学会での研究発表	アメリカ合衆国	H19. 5. 21 ~19. 6. 4	出張
片山敬章	第54回アメリカスポーツ医学会大会における研究成果発表	アメリカ合衆国	H19. 5. 24 ~19. 6. 4	研修
布目寛幸	台湾で行われる国際バイオメカニクス学会に参加して演題発表を行い、中原大学と共同で研究動向調査を行う	台湾	H19. 6. 30 ~19. 7. 6	出張
石黒洋	European Pancreatic Club 2007(ヨーロッパ膵臓学会)に出席し、研究成果を発表するためおよび、Manchester大学における共同研究	イギリス	H19. 7. 4 ~19. 7. 11	出張
小川豊昭	第45回国際精神分析学会出席およびベルリン精神分析協会と研究打合せのため	ドイツ	H19. 7. 24 ~19. 8. 2	出張
高橋義雄	国際スポーツ社会学会への参加および発表	デンマーク	H19. 7. 30 ~19. 8. 6	出張
蛭田秀一	第12回東アジアスポーツ運動科学学会への参加と中国内モンゴル地域における健康体力調査の打合せのため	中国	H19. 7. 31 ~19. 8. 10	出張
佐々木康	スポーツ競技団体における組織運営に関わる調査	オーストラリア	H19. 8. 12 ~19. 8. 17	出張
蛭田秀一	第6回国際作業関連性筋骨格障害予防学会への参加とマサチューセッツ大学における研究打合せと資料収集のため	アメリカ合衆国	H19. 8. 16 ~19. 9. 3	出張
西田保	アジアスポーツ心理学会での研究発表及び「体育学習を通じた生きる力の育成」に関する情報収集	タイ	H19. 11. 30 ~19. 12. 6	出張
竹之内隆志	第5回ASPASP International Congressに参加し、演題発表を行う	タイ	H19. 12. 1 ~19. 12. 5	出張
蛭田秀一	留学生の面接試験	中国	H20. 2. 3 ~20. 2. 6	出張
津田均	先進事例取組調査のため	ドイツ フランス	H20. 2. 16 ~20. 2. 24	出張
古橋忠晃	先進事例取組調査のため	ドイツ フランス	H20. 2. 16 ~20. 2. 24	出張

あ と が き

総合保健体育科学センター年報第30号ができ上がりました。この年報は本センターの主要な業務である、保健管理、全学教育、全学向け保健体育のサービス事業の2007年度の実績についてまとめたものです。

本センターの教員は保健科学部と体育科学部のいずれかに所属しています。保健科学部所属の教員は、大学院医学研究科で大学院教育を担当（協力講座）し、全学の健康管理業務を行うとともに、全学教育科目「健康・スポーツ科学」における講義を担当して、学生の健康教育にも当たっています。体育科学部所属の教員は大学院教育発達科学研究科を担当（協力講座）し、全学教育科目「健康・スポーツ科学」における講義および実習を担当しています。これ以外に両科学部の教員が協力して、学内あるいは学外を含めた、健康の維持増進のための様々な啓発活動やサービスを行っています。

名古屋大学も独立法人化後4年が経過しましたが、法人化前には予想のできなかった状況の発生が依然として多く、本センターの業務の中でも、特に保健管理業務は産業医としての業務があらたに加わるなど、多忙を極めています。本センターは学内共同利用の施設として設立されました。学内の組織としては教授会をもち、意思決定を自ら行える組織ではありますが、他の学部や研究科と比べ小さい組織であり、法人化後は他の組織との合併等の改組の必要性が叫ばれてきました。しかし、法人化後の情勢の変化で、当分の間は現状の体制で存続することになりました。したがって、本センターに課せられた使命である研究・教育ならびに全学共同利用施設としての業務を引続き遂行して行かなければならない状況にあります。

法人化を含め、本センターを取り巻く環境は年々厳しいものとなってきていますが、スタッフ全員で協力し、より効率的にサービスが行えるようにしたいと考えています。

なお、本センター教員の研究活動については紀要「総合保健体育」第31巻をご覧ください。

平成21年3月25日

編集兼発行

名古屋大学
総合保健体育科学センター

名古屋市千種区不老町

電話 789-3946 (ダイヤルイン)

印刷所

新協和印刷株式会社

名古屋市瑞穂区新開町25-6

電話 871-5840 (代)

郵便はがき

464-8601

切
手

名古屋市千種区不老町

E | 5 | 2

(130)

名古屋大学総合保健体育科学センター

御
中

切り取ってお使い下さい

受領書

総合保健体育科学センター年報(第三十号) 冊

右正に受領いたしました。

平成二十一年 月 日

受取人

住所

氏名

THE ANNUAL REPORT
OF
THE RESEARCH CENTER OF HEALTH,
PHYSICAL FITNESS AND SPORTS
NAGOYA UNIVERSITY

2007
(Volume 30)